



愛知県政150周年 愛知県は2022年に県政150周年をむかえました。
私たち、愛知県測量設計業協会はこれからも愛知県とともに発展できることを願っています。

方位



(県民141歳)



一般社団法人

愛知県測量設計業協会



あいち
アール・ブリュット

愛知県測量設計業協会は、障がいがありながらも自立を目指す才能のあるアーティストを応援します。
アート・福祉・地域活性・経済活動をつなぐ新しいかたちとして誕生した、アティックアートの活動の輪を社会に広げていきたいと思ひます。



(一社)愛知県測量設計業協会 ※ アティックアート ※

竹内 道優
清洲小学校



一般社団法人

2022-10 第45号

愛知県測量設計業協会

一般 社団法人 愛知県測量設計業協会について

昭和49年11月、社団法人愛知県測量設計業協会は愛知県知事の認可を得て正式に発足しました。

「測量業」の生立ちは、昭和24年6月測量法の公布により、測量技術者の資格と担当範囲が制定され、ここに測量業者の誕生となり、昭和36年6月の測量法一部改正により、測量業の登録制度が法制化されました。

測量業者の組織では、昭和36年8月社団法人全国測量業協会が発足し、全国に8支部を設置。当地区にも中部支部が設置され活発な事業を展開しました。各県に会員が増加し、昭和42年8月支部内に愛知県支会が発足、地域独自の諸問題に対処してまいりました。その後、県内独自の組織の強化が叫ばれ、支会の公益法人化を目指し、昭和49年11月愛知県知事の認可により社団法人の資格を得、社団法人愛知県測量設計業協会が発足致しました。

「公益法人改革3法」が平成20年12月1日から施行されたことに従い、私共は

一般社団法人化を目指すこととしました。愛知県建設部の御指導を賜り、平成25年4月1日付けで移行許可を受けることができました。

今後とも、非営利法人の自覚のもと、公益事業として、測量設計無料相談所の設置運営、災害等緊急時協力体制の整備確立等の地域社会への貢献、会員の親睦と団結、技術の研鑽等の研修活動、各種要望、陳情活動、並びに協会の広報活動等々、協会の目的達成のために、幅広い活動を展開して参ります。

創立以来、関係機関の皆様からの厚いご支援、ご鞭撻のお蔭を持ちまして、当協会も順調に推移してまいりましたが、昨今の業界を取り巻く環境は厳しく、健全な発展を図る為に、更に一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

会員一同は、一致団結してこの難局に対処致し、地域社会への貢献、技術の向上、経営の安定化、社会的地位の向上等々に、尚一層取り組んで参りたいと存じます。

協会の主要な事業

- (1) 測量、調査、設計、技術等の向上の為研修及び講習会の開催
- (2) 測量及び設計業の技術及び経営業務の改善に関する調査研究
- (3) 災害復旧における技術援助計画の立案及び実施
- (4) 関係機関及び各種団体との連絡及び提携
- (5) 測量及び設計業の社会的使命に関する宣伝及び啓蒙
- (6) 県民無料測量及び設計相談所の開設
- (7) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

方位 第45号の刊行にあたって

広報委員会

委員長 永草 新吾

恒例となりました年一度、皆様にお届けしている「方位」ですが、本年も第45号が完成し、刊行することが出来ました。一人でも多くの県民の皆様にお読みいただき、社会資本整備の必要性を再認識していただくと共に、学生や生徒の皆さんには業界研究の情報誌として活用していただければと、今回も2000部をご用意いたしました。県内全ての公立図書館・官公庁・大学・高校等で読み親しんでいただければ幸いです。

1872（明治5）年11月27日、当時の愛知県（名古屋県が改称）と額田県が合併して現在の愛知県が誕生しました。あれから150年、今年2022年で愛知県政は150周年を迎えます。

愛知県は、日本列島の中央部にあたり、人口は東京都、神奈川県、大阪府に次いで4番目、名目県内総生産は東京都に次ぐ全国2位です。また、県庁所在地の名古屋市は中部地方における中心都市となっています。

名古屋市内で開催される祭りに、名古屋まつり（毎年10月開催）があります。祭りの最大の見せ場は郷土英傑行列、愛知県は織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑を生んだ武将のふるさとです。戦国乱世を駆け抜け、天下泰平を夢見た武将たちは、木曾三川にはぐくまれた濃尾平野のもと、ここ愛知で花開き、日本の歴史を大きく動かししました。来年2023年にはNHK大河ドラマ「どうする家康」が始まり、愛知県が注目を集めることになりそうです。

現在、愛知県では150周年を記念し、さまざまな取り組みがなされています。弊会も150周年記念のPR等に協力する団体として登録していただいています。協会HPにも「愛つなぐ、知ひらく」のバナーを貼り付けていますので、是非覗いてみてください。新しい発見があるかもしれません。

今号の特集では、愛知県政150周年記念の取り組みについて、愛知県政策企画局 様より寄稿していただきました。

公益事業への取り組みでは、「愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」への支援、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小中学生を対象に関催されております「地図教室」の様子を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任した新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者の皆様には、会員企業の新入社員（入社3年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。就職活動の一助となれば幸いです。

また、今回は愛知県建設局長 道浦 真 様からの巻頭言をはじめ、特集では、愛知県政策企画局 様からと多くの方に寄稿頂いたことに対し、皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、この「方位」を多くの皆様に読んでいただき、当協会活動の社会的認知度がさらに向上できるよう努めてまいりますので、ご指導・ご支援をお願いする次第です。

目次

一般社団法人 愛知県測量設計業協会について	1
「方位」第45号の刊行にあって	2

挨拶と巻頭言

刊行にあたり	今村 鐘年	5
刊行に寄せて	道浦 真	6

特集

1. 愛知県政150周年記念の取組について	愛知県政策企画局企画調整部企画課	7
-----------------------------	------------------	---

公益事業への取り組み

1. 平板測量競技会への支援	吉本 三広	9
2. 地図教室と測量体験学習	吉本 三広	10

協会トピックス

1. 新社長紹介	11
2. 新入社員紹介（入社3年目迄）	13
3. 若手中堅技術者からの投稿	17

協会委員会活動報告

1. 協会活動報告	21
2. 総務委員会	27
3. 広報委員会	28
4. 測量委員会	29
5. 建設コンサルタンツ委員会	30
6. 危機管理委員会	31

会員紹介（力行）

1. (株)梶川土木コンサルタント	32
2. (株)カナエジオマチックス	33
3. (株)協同コンサルタント	34
4. 協和調査設計(株)	35

紹介

協会顧問の紹介	36
役員名簿	38
委員会名簿	39
会員名簿	40
広告	42
編集後記	巻末

表紙 揮毫「方位」・・・・・・・・・・一般社団法人 愛知県測量設計業協会会長
今村 鐘年

表紙（絵） アティックアート

挨拶と巻頭言

刊行にあたり

(一社) 愛知県測量設計業協会
会長 今村 鐘年



機関紙「方位」第45号の刊行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども測量設計業協会は創立以来、国土交通省、愛知県を始めとする地方公共団体の方々、並びに顧問団の先生方の温かいご支援を頂き今日に至っております。

改めて、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株となり終息が見えない中、コロナと共存せざるを得ない日々が続いております。

コロナ禍にあっても事業の継続が求められる業界として、業務を遅延することなく「継続すべき業務を担う業界」との強い認識のもと、日々の行動に努めています。

又、改正労働基準法を順守し、働き方改革の一層の推進、改正品確法を踏まえた更なる品質の確保、若手・有資格者の確保が課題となる一方で生産性向上への取組みを図っています。私ども測量設計業は、適正な利潤を基に経営基盤を安定させ、労働環境の改善や人材育成など、『魅力と働きがいのある業界』への発展を目指しています。

調査・測量設計業は、「地域の守り手」として重要な役割がありますが、「3K」に代表される負のイメージが根強く残っています。

その反面、新3K「給料・休日・希望」に対する認知度はいまだ低く、イメージアップに向けた取組みが必要と感じています。

近年、地球温暖化の影響により全国各地で災害が頻発しており、私ども測量設計業は国や自治体と連携し、被災状況の調査や応急対策の立案、用地補償調査を行うなど、復旧作業の道標となる役割を果たしております。

広域・激甚災害から国民の生命、財産、暮らしを守るための事前防災や災害復旧対応の迅速化、更には老朽化が進む社会インフラ

に対する維持管理への対応が求められ、中長期的な視点に立った安全・安心な国土づくりの基礎を支えるため、私ども測量設計業が果たすべき役割は一層高まっています。

公共事業費は、国民の生命と財産、地域経済を守るとともに老朽化が進むインフラの維持管理を進めるため「防災・減災・国土強靱化対策」を継続的、計画的に推進する方針のもと安定的な確保がなされています。

技術者単価は、10年連続で引き上げられましたが、公共事業費は技術者単価のアップ率に追いついておらず、事実上、事業量の減少ではないかと危惧しています。

今刊は、愛知県が誕生してから150周年にあたる記念すべき年でありますので「愛知県政150周年記念の取り組み」を特集しました。

県政150周年という節目を期に多種多様な取組みを通じて愛知の魅力を再発見し、いつの時代も愛をつないで知をひろく、その歩みこそ私たちの誇り、の思いで市町村・企業との連携でPRされています。私ども協会員も微力ながら寄与できれば、の思いで取組みに賛同しております。

世情が日々変化する中、「働き方改革」の実現のための環境整備を進め、測量設計業の経営の安定と将来を担う人材の確保・育成を図り、社会資本整備に貢献するため、行政機関との連携を深め、業界が大きく発展するよう全力を尽くしていきたいと思っています。

協会員は、日頃から『協調と競争』をキーワードに行政機関の良きパートナーとしての自覚を持ち、『夢のある産業』を目指し、日々研鑽・啓発に努めて参ります。

引き続き、行政機関の皆様には協会並びに協会員に更なるご支援・ご指導をお願い申し上げます。

刊行に寄せて

愛知県建設局長
道 浦 真

一般社団法人愛知県測量設計業協会の会員の皆様方におかれましては、日頃より新たな技術の取得、研鑽に努められ、測量設計業の健全な発展、さらには社会基盤の整備や地域社会の発展に、大きな役割を果たしてこられたことに深く敬意を表します。

また、本県との防災協定の締結など、県政全般にわたり格別の御支援、御協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

本県は、2025年度までに建設部門が進めていくべき取組方針を示す「あいち社会資本整備方針2025」に基づき、「未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり」を理念に掲げ、日本一元気な愛知として、日本経済の力強い回復や日本の成長を牽引し、県民の生命、財産を守り、安全で安心な生活を支えるとともに、魅力にあふれ快適に暮らすことができる持続可能な社会の実現を目指しています。

今年は、愛知県が誕生してから150周年にあたる記念すべき年です。この記念すべき年の11月1日には、愛・地球博記念公園内のジブリパークにおいて、「青春の丘」など3エリアが開園します。さらには、2026年のアジア競技大会の開催、2027年の中部国際空港第二滑走路の供用、2027年以降のリニア中央新幹線の開業なども控えており、引き続き愛知が日本の成長をリードしていくために、これら重要なプロジェクトの効果を最大限に活用していきます。

特に、リニア開業に伴い、三大都市圏が一体化する「リニア大交流圏」の形成が期待されています。本県としては、首都圏との時間短縮効果を県内全域に波及させ、そのインパクトを最大限に活かすために、玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化や、中部国際空港及び名古屋港、三河港などの港湾機能強化を推進するとともに、これら

の交流拠点と産業集積地、観光拠点などの相互交流を活性化していくために、道路ネットワークの整備も促進していきます。

一方、昨年7月には、集中豪雨に伴う土石流が静岡県熱海市で発生し、8月には長雨に伴う河川氾濫が全国各地で発生するなど、激甚化・頻発化する風水害への備えや、発生が懸念されている南海トラフ地震への対策も必要です。今年度で2か年目となりました「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を強力に推進し、ハード、ソフトの両面から強靱な県土づくりを進めていきます。

また、地域を支える社会基盤施設の多くは、高度経済成長期に集中的に整備され、急速に老朽化が進んでいることから、個別施設計画に基づいた点検・診断、修繕・更新などのメンテナンスサイクルの構築や、予防保全型の維持管理の導入など、将来の県民生活や社会経済活動を守る対策も急務となっております。

労働環境に目を向けますと、少子高齢化に伴い労働人口が減少する中、建設業界においても、就業者の高齢化や次世代を担う若手技術者が不足しており、今後の建設産業を支える担い手の確保・育成が喫緊の課題となっております。このため、繁忙期解消に向けた設計・施工時期の平準化や、DXを活用した業務の効率化などの取組により、働き方改革を一段と進めていかなければなりません。

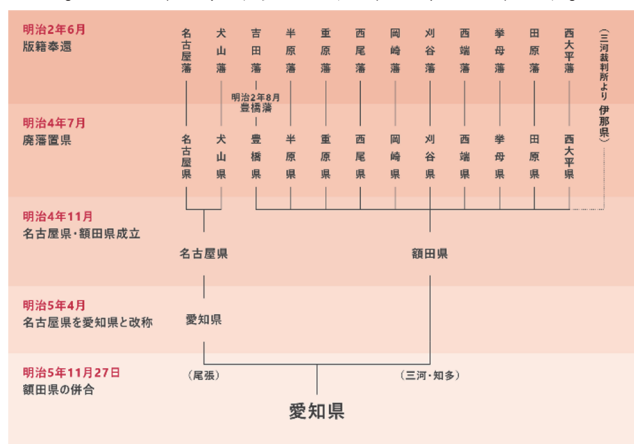
これらの施策を着実に進めていくためには、皆様方の確かな技術力と豊富な知識や経験が必要不可欠であります。今後とも、本県の建設行政に一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます。

愛知県政 150 周年記念の取組について

愛知県政策企画局企画調整部企画課

1. はじめに

1872 (明治5) 年 11 月 27 日に当時の愛知県 (名古屋県が改称) と額田県が合併して現在の愛知県が誕生しました。2022 年は、県政 150 周年の節目の年です。



(図1) 愛知県の変遷 (版籍奉還から愛知県設立までの推移)

この愛知が我が国屈指の産業力を備えた大都市圏として大きく成長できたのも、先人たちのたゆまぬ努力のたまものであり、そうした先人たちの英知を受け継ぎ、将来世代へとつながっていくことは、これからの愛知の発展に大変重要です。

県政 150 周年を機に、県民の皆様に愛知の歩みを振り返っていただき、郷土への愛着や誇りを改めてお持ちいただけるよう、愛知県では様々な PR 事業を展開しています。

2. 愛知県のPRの取組

2.1 ログマーク・キャッチフレーズ

県政 150 周年という節目を県民の皆様に広く知っていただくため、株式会社スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーに依頼し、シンボルとなるログマークを作成しました。このログマークキャラクターの名前は、全国から一般公募 (募集期間: 2022 年 5 月 10 日~7 月 9 日) し、「いこまいまい」と「あいちゅん」に決定しました。この「いこまいまい」と「あいちゅん」のぬいぐるみも制作し、市町村や県関係機関、県警察署等に配置し、県政 150 周年を祝う気運の醸成を図っています。また、キ

ャッチフレーズ「愛つなぐ。知ひらく。」についても、鈴木敏夫プロデューサーに揮毫していただきました。



(図2) 県政 150 周年記念ログマークとキャッチフレーズ

2.2 ポスターやパネル、映像を活用した PR

ログマークやキャッチコピーを活用し、県政 150 周年であることをわかりやすく表現した 2 種類の周知ポスターと、全 28 種類のキーワードで愛知の多彩な魅力を紹介するシリーズポスターの全 30 種類の PR ポスターを作成しました。これらのポスターは、県内の学校や市町村、企業・団体等にも配布し、掲示にご協力いただいています。また、交通広告として、県内主要駅やコンコース、電車の車内などにも掲示し、様々な場所で多くの方々に見ていただけるよう PR を行っています。



(図3) 県政 150 周年記念周知ポスター (2種類)

また、これまでの愛知の歩みや出来事を振り返るパネルや映像を制作しています。パネルは各種イベントでの活用に加え、県の地方機関である県民事務所等で巡回展示を行っています。映像は、映画監督の堤幸彦氏の協力のもと、制作しています。

2.3 Web サイトや SNS を活用した情報発信

150 周年に関する様々な情報発信のため、「愛知県政 150 周年記念 Web サイト」と Twitter を開設し、150 年の歩みや文化・歴史・産業などの多彩な魅力、各種イベント情報などを紹介しています。また、「わたしの大好き！な愛知」のワンシーンをインスタグラムで募集するキャンペーン（募集期間：2022 年 6 月 13 日～9 月 30 日）を行い、多くの写真を投稿いただきました。投稿いただいた写真は、Web サイトに掲載しているほか、11 月 27 日に開催する記念式典のオープニング演出映像にも活用する予定です。



(図4) 県政 150 周年記念 Web サイト

2.4 小中高生向け絵画コンクールの実施

県内の学校に在学する児童・生徒を対象に、小中高生向けの絵画コンクールの作品募集（募集期間：2022 年 7 月 4 日～9 月 30 日）を行いました。このコンクールは、150 周年を契機に県内の小中高生に自分の住むまちである愛知の将来を考えてもらい、郷土への愛着や誇りを持ち、愛知の将来を担ってほしいという思いを込めて、テーマを「わたしの住むまち あいちの未来」としました。入賞作品は記念式典（後述）の会場に展示するほか、入賞者を式典に招待し最優秀賞者を表彰する予定です。

3. 市町村・企業との連携した PR

3.1 市町村との連携

市町村においては、市役所等への PR ポスターの掲出を始め、市町村が主催するイベントでの PR グッズの配布、一部のイベントには県も 150 周年ブースを出展し、市町村と連携して PR に取り組んでいます。また、市町村が所有する施設には、県政 150 周年を紹介するパネルを巡回して展示しています。



(図5) 豊田市高岡コミュニティセンターでのパネル展示（6 月末～7 月末）

3.2 企業・団体との連携

県政 150 周年の PR に協力していただける企業・団体を 2021 年 9 月から募集し、「協力企業・団体」として登録しています。2022 年 9 月 22 日現在で、372 者の企業・団体にご登録いただいています。

協力内容については、これまでに、ショッピングモールやコンビニ、薬局、銀行、自動車販売店、大学等への PR ポスターの掲出を始め、各企業・団体の Web サイトと県政 150 周年 Web サイトとの相互リンク、各企業・団体が制作するグッズや商品、イベント、チラシやポスター、機関誌、メールマガジン等での PR など、大変多くの企業・団体に様々な方法で PR にご協力いただいています。

また、2022 年 7 月にはイオンモール大高（名古屋市長区）、9 月にはプライムツリー赤池（日進市）において、150 周年を PR するイベントを開催しました。イベントでは、PR ポスターやパネルの展示に加え、ロゴマークのオリジナル缶バッジ作り体験のブースを設け、子どもたちを始めとした多くの方にご来場いただきました。



(図6) イオンモール大高でのイベントの様子(2022 年 7 月)

4. 記念式典の開催

愛知県が誕生した 2022 年 11 月 27 日（日）には、愛知芸術文化センター（名古屋市長区）で記念式典を開催します。式典では、県政 150 周年を振り返る映像の上映や小中高生向け絵画コンクールの表彰、地域づくりに貢献された団体への感謝状の贈呈を行うほか、愛知県出身で経済界で活躍されてこられた丹羽宇一郎氏による講演、愛知を代表する名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏会を予定しています。

5. おわりに

こうした取組を通じて、県民の皆様に県政 150 周年を知っていただき、愛知の魅力を再発見し、愛知に住んでいてよかった、そして、これからも住み続け、よりよい愛知をつくっていききたいと思っていただけるよう、オール愛知で県政 150 周年を盛り上げてまいります。

公益事業への取り組み

平板測量競技会への支援

測量委員会

副委員長 吉本 三広

1. はじめに

「令和4年度 愛知県学校農業クラブ連盟平板測量競技会」が、6月8日に愛知県立安城農林高等学校で開催されました。日ごろ学習した測量技術を競い合う大会で、毎年実施されています。愛知県下連盟所属高校6校にて競い合いました。なお、最優秀校は10月開催予定の第73回日本学校農業クラブ全国大会北陸大会へ出場する予定です。

私たち協会員は、競技審査を担当しました。天候にも恵まれたなか、トラブルや事故もなく無事終了することができました。

2. 競技会の概要

日ごろの教科学習や実習で習得した測量技術の実力を発揮し、さらに測量技術能力を高めることを目的に開催されました。

2.1 開催場所、日時

場所：愛知県立安城農林高等学校 グランドにて

日時：令和4年6月8日（水）晴れ

午前10時5分から午後3時30分まで

2.2 競技内容

第一次作業：平板測器による境界線測量

第二次作業：面積測定のための距離測定作業

第三次作業：図面補正、図面仕上げならびに
三斜法、三辺法による面積計算

2.3 審査

測量状況について、動作、精度等をチェックシートにより審査を行いました。

2.4 競技結果

安城農林高校、猿投農林高校、鶴城丘高校、稲沢高校、田口高校、渥美農業高校の6校による競技の結果、最優秀校1校および優秀校2校が選ばれました。

最優秀校・・・稲沢高校

優秀校・・・安城農林高校、猿投農林高校

会場となりました安城農林高校は、明治34年に愛知県立農林高校として開校しました。その歴史と伝統の下に緑豊かな恵まれた環境のなか、農場、実験室、演習林など多くの施設・設備があり、農業の基礎から先端技術までを体験的に学習できる学校です。

3. おわりに

参加した選手皆さんののはつらつとしたきびきびとした動きの取り組み姿勢に、私たちも測量の初心を思い出すことができました。素早く平板を据える、テープを持って走る、大声でテープや野帳を読む、復唱する、そうした測量の原点を学ぶことができました。

最後に安城農林高校農業クラブ生徒の皆様、関係者および協会会員6社7名の皆さまのご支援、ご協力に紙上をお借りし深く感謝申し上げます。



開会式にて安城農林高校校長先生挨拶



輝く雲、、、据える、視る

地図教室と測量体験学習

測量委員会
副委員長 吉本 三広

1. はじめに

「6月3日測量の日」の関連事業として、測量・地図の意義や重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的に、国土交通省国土地理院中部地方測量部と当協会が協働して、測量と地図に関する情報と知識を普及、啓発する運動を続けています。その一環として、小学生を対象に「地図教室と測量体験」を実施しました。

令和4年度は、豊田市立上鷹見小学校（6月21日）、豊田市立西広瀬小学校（9月6日）、豊田市立御作小学校（10月14日）の3校で実施しました。ここでは、上鷹見小学校で開催した様子を紹介いたします。

2. 開催日時、場所

令和4年6月21日（火）9時～10時35分
豊田市立上鷹見（かみたきみ）小学校
豊田市上高町宮下60

3. 開催内容

4年生10名を対象に、国土地理院職員による講話と協会会員による測量体験学習を行い、地図や測量について理解を深めてもらいました。

「測量体験」では「自分の一步を知ろう、歩いて距離を測ろう、測量機器を使って正確な距離を測ろう」を、児童の皆さんに体験してもらいました。

10mの距離を歩数歩測し、歩幅計算しました。その後、代表児童がドッジボールを投げ、飛んだ距離を全員が歩測で測りました。次に測量機器を操作し、距離の測定を体験してもらいました。



学校正門を望む

「地図教室」では地理院職員による地理院の紹介や地図が出来るまでの仕組みや基準点、地図記号などを解り易く説明しました。特に地図記号クイズでは、見慣れない記号に興味を引き、元気よく回答する場面も多くありました。

4. おわりに

地理院職員による解り易い講話と、協会会員の熱心な指導のもと測量体験を通し、児童の皆さんや学校の先生たちにも大変喜んで頂きました。測量機器の値段に驚く場面もありました。

最後に、当事業にご協力をいただきました協会会員4社6名の皆様および関係者の皆様に、紙上をお借りし深く感謝申し上げます。



地図について学ぼう



測量機器に触れてみよう

新社長紹介



アローコンサルタント株式会社
代表取締役社長
くりやま ともあき
栗山 智明



令和3年9月に代表取締役社長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

弊社は、同年11月に50周年を迎えることができました。高度経済成長の波に乗り愛知県を基盤に建設コンサルタントとして地域の農業基盤整備、社会資本整備に取り組んでまいりました。

また一方、社員にとって魅力ある会社とするために中期ビジョンを策定し、地域に根ざしたコンサルタントとして顧客満足度を高め、地域社会に貢献する企業を目指して積極的にチャレンジしています。

今回、貴重な機会を頂きましたので、ここで自己紹介をさせていただきます。

- ・生年月日：昭和33年9月18日64歳
- ・入社年月：平成30年4月
- ・現住所：岐阜市
- ・技術分野：下水道 現在は経営に邁進しています。
- ・趣味：テニス／週末はクラブにて異業種の方々と大いに語らい体力増進に努め楽しんでます。

最後に会員の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 カナエジオマチックス
代表取締役社長
いいたに てつや
飯谷 哲矢

株式会社 カナエジオマチックス



【私の週末の一コマ】

平成23年から県営油ヶ淵水辺公園で“田んぼビオトープの会”というボランティア団体に所属し、主に週末に活動しています。地元の親子の皆さんと共に公園内の田んぼビオトープで、昔ながらの人力による田植え、稲刈り、脱穀、餅つきまで、また、田植え（5月）から稲刈り（10月）までの間は定期的に草刈りをしながら、田んぼの周りやビオトープで生きもの観察

会、田植えの前には泥んこ遊び大会、冬には刈り取った藁でクリスマスリースやお正月飾り作りのイベントを行っています。これにより公園利用者が増え、地域の活性化につながれば、なお幸いです。

これからも地域の皆さんと公園の発展を見守りつつ、楽しく週末を過ごしたいと思っています。汗まみれ、泥まみれになって田んぼと向き合うのは良い気分転換にもなっています。



中部復建株式会社

代表取締役
つみ しげみつ
筒井 重満



建設コンサルタント・補償コンサルタント

中部復建株式会社

令和4年6月1日に代表取締役に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

弊社は昭和21年（1946年）に「社団法人 復興建設技術協会 中部支部」として創業し、戦後復興や高度成長といった、時々の社会ニーズに、測量・設計業務を通して応えて参りました。

新社長としての私の最も重要な役割は、諸先輩及び社員が築いてきた歴史と伝統ある当社の基盤をより盤石なものとし、今後、より存在価値の高い会社にしていくことだと考えています。

入社して40数年、社会人としてまたは個人として、いろいろと経験をさせていただきました。今後は経営者という立場から、会社及び業界全体に恩返しをしていくことも必要と思っています。

今は、第1歩を踏み出したところです。重責を担い身が引き締まる思いではありますが、初心を忘れることなく前進していきたいと思っています。



日本工営都市空間株式会社

代表取締役
よしだ のりあき
吉田 典明

NIPPON KOEI
Urban Space

日本工営都市空間は、土木・建築分野を融合したワンストップサービスを提供するため、玉野総合コンサルタント株式会社と日本工営株式会社都市空間事業が統合し、これまで蓄積してきた技術と経験を基盤として、都市空間領域に業務を拡大する新組織です。

脱炭素をはじめとするサステナブルな社会の実現、コロナ禍への対応といった多くの社会課題が都市空間にあります。これらの課題解決に向けて、新しいモビリティや再生可能エネルギーの活用、メタバースの導入等スマート技術の応用など、新しいサービスが生まれています。

これらの取り組みは、働く・住まう・憩う・移動するといった人々の根幹をなす生活スタイルを変え、都市の在り方そのものを変えていく要素となります。

これまで公共事業を中心とした都市基盤整備に関わってきた経験と実績を基に、都市空間における時代のテーマを解決するための技術分野を強化し、社会への貢献を果たしていきたいと考えます。

私の出身地でもある名古屋を拠点に、地域貢献ができる幸せを感じながら皆様との出会いを楽しみにしております。

新入社員紹介



氏名
小嶋 泰斗（こじま たいと）
勤務先
（株）アイエスシー
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

学生と異なり、責任を伴うため入社当初は不安しかありませんでした。しかし、上司の方や先輩方が丁寧に指導していただけるため、不安より学ぶことの楽しさを感じました。

毎日が初めてで大変ではありますが、自分が作成した資料を使う打合せ等があると、やりがいをとて感じます。

今後も少しずつではありますが着実に知識を身に着けたと思っています。

【将来の目標・夢】

地図に残る仕事をしているため、設計した地に足を運んだ際に「私が設計した」と胸を張って言える建設コンサルタントになりたいです。また、「この人なら任せる」と思ってもらえるような人財になりたいです。



氏名
近藤 優樹（こんどう ゆうき）
勤務先
（株）愛河調査設計
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

ボビーバレンタインさん（元千葉ロッテマリーンズ監督）

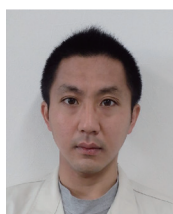
【入社して感じたこと】

仕事をする上で分からないことばかりなのですが、受け身ではなく自発的に上司や先輩の方々に聞くことが大切だと感じました。

また、教えてもらったことをメモ等で記録し極力同じことを聞かないように取り組みたいです。

【将来の目標・夢】

いつもよく指導して頂いている上司には如何なる時も肝が据わっており心強かつこいいです。私もその上司の様に傍から見て頼りになる存在になりたいです。その様になるためにも、知識や経験を積み自信をつけることと良い意味で楽観的な思考をもつことを意識して視野を広くしていきたいと思っています。



氏名
東 尚吾（あずま しょうご）
勤務先
（株）葵設計事務所
入社年月日
2021年4月1日

【尊敬する人】

妻

【入社して感じたこと】

測量業は自分の感じていた以上に多くの方々とコミュニケーションをとる機会があり、それがとても大切であるということを強く感じました。

社内だけでなく社外にも多くの関りがあり、その関りにより一人一人の業務が成り立っており、それにより社会に貢献できていることを実感しています。

【将来の目標・夢】

現段階では業務や現場で上司や先輩に指示されている状況です。一日でも早く、自ら判断し行動できるよう、その都度指示された内容をよく考え理解し自分の知識や経験にしたいと思います。そして、日々誠意をもって業務に取り組み、諸先輩方のように「無駄なく的確な行動」をとれるよう精進したいと思います。



氏名
野田 康貴（のだ やすたか）
勤務先
（株）石田技術コンサルタンツ
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

測量の専門知識や経験が浅いため、頼まれた仕事に時間がかかってしまいます。ですが、先輩方は質問がしやすく、また分かりやすく説明してくれます。今後は説明して頂いた知識を吸収し、自分の成長につなげたいと思います。

【将来の目標・夢】

今はまだ未熟で教えてもらうことやミスをすることが多いですが、一つでも多くの測量知識や技術を身につけたいです。そして、ゆくゆくは仕事を任せても大丈夫と言われるような技術者になれることを目標に頑張っていきたいです。



氏名
大平 拓実（おおひら たくみ）
勤務先
NTC コンサルタンツ(株)
入社年月日
2022 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

専門用語やソフトの使い方など分からないことが多くありますが、周りの先輩方からたくさん質問しなさいと声をかけていただき、緊張も解けてきました。お陰様で、少しずつですが出来ることが増えていき、非常に充実した日々を過ごすことができています。

【将来の目標・夢】

短期的な目標は、多くの業務に携わり経験を積むことです。その中で、先輩方に疑問点を積極的に質問し、幅広い知識・技術を身に付けていきたいです。

長期的な目標は、業務の責任者となり会社に貢献することです。そのため、熱心に勉強を続け、技術士をはじめ様々な資格の取得を目指していきたいです。



氏名
河上 真（かわかみ しん）
勤務先
(株)大增コンサルタンツ
入社年月日
2022 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

新しい環境で不安はありましたが、先輩方が気さくに話しかけて下さるので、雰囲気としてはとてもいいです。業務で分からないことがあっても聞きやすい環境です。

日々の業務において、先輩方は分かりやすく報告書作成を意識していると感じました。

【将来の目標・夢】

まだまだ慣れないことが多く、迷惑をかけることは多いですが、1つ1つ出来ることを増やしていきたい。また技術者として、技術や知識を吸収して、成長していきたいです。



氏名
石田 浩一（いしだ こういち）
勤務先
(株)大增コンサルタンツ
入社年月日
2022 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社してから様々な業務の中で専門の知識が足りないことはもちろん、社会人としての自分の不甲斐なさを痛感することが多々あります。会社の一員として早く一人前になれるように励んでいます。

【将来の目標・夢】

上記でも述べましたが、まだまだ学ぶこと、足りないことが多いですが業務を通して早く一人前の社会人となり、技師としての技術も積み重ねていきたいです。そうして他の人の頼りになるような社員になることを目標にしております。



氏名
中島 脩（なかしま しゅう）
勤務先
(株)大增コンサルタンツ
入社年月日
2022 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社当初は、新しい環境ということもあり、ちゃんと仕事をやっていけるか不安で仕方がなかったですが、社員の皆様が気にかけて、気さくに話しかけてくださり、今では不安もなく楽しく過ごすことができています。

【将来の目標・夢】

私は会社と社会に貢献できる技術者になりたいと考えています。しかし、現在自分でできることが非常に少なく、日々試行錯誤しながら業務に取り組んでいる状況です。そのため、これから資格取得への勉強や初歩的なミスを無くすなど、少しずつ技術者として必要な知識を身につけていき、自分のできる業務を増やしていきたいと考えています。



氏名
湊 雄太郎（みなと ゆうたろう）
勤務先
（株）カナエジオマチックス
入社年月日
2020年4月1日

【尊敬する人】

変化を恐れない人

【入社して感じたこと】

設計業務に携わっています。日々業務の中では、土木専門用語が飛び交い、内容を理解しながら業務を進めていくことにとても苦心しています。しかし、上司や先輩方が丁寧に教えてくださるため、日々やりがいを感じています。

【将来の目標・夢】

入社して3年が経ちます。まだ業務の片りんを任される身ですが、1つ1つの業務をこなし、自ら工程を考え、自身で業務を完遂できるようになることが今の目標です。また、現在取り組んでいるUAVから取得した画像・点群データから三次元地形に解析する技術に磨きをかけ、今後は3Dの設計が行えるよう、3D-CADを活用した設計技術を身に付けていきたいと思っています。



氏名
西川 敦樹（にしかわ あつき）
勤務先
（株）梶川土木コンサルタント
入社年月日
2021年7月1日

【尊敬する人】

先人の土木技術者

【入社して感じたこと】

社内の雰囲気になじかれて入社しました。

以前は作業員として設計されたものを実際に造りあげていく側から、実際に設計する側になり不安もありましたが、先輩方には丁寧に教えていただき、少しずつ知識と技術が身についてきてやりがいを感じています。

【将来の目標・夢】

まだまだ仕事に慣れていない部分もあるので、広い視野をもち臨機応変に対応できる技術者となって「ここは私が設計しました!」と自身の仕事に自信を持って言えるようになりたいです。そのためには、些細な業務でも得るものは多くあるので吸収していきたいです。



氏名
加島 豊（かしま ゆたか）
勤務先
（株）梶川土木コンサルタント
入社年月日
2021年7月1日

【尊敬する人】

兄

【入社して感じたこと】

最初はとてつもなくワクワクして入社したことを覚えています。経験したことのない業務について知ることが楽しかったです。いろんな現場へ行き、毎回違う仕事現場を見るのが楽しみでした。今でも初心を忘れず、楽しく働きたいと考えています。

【将来の目標・夢】

毎年、個人目標を決めて業務をしており、個人目標に向けての勉強や、いろんな業務を経験し、自己の知識を幅広く持てるようにしたいです。自分の長所や短所をもっと理解して、得意なことを業務に活かし、仕事に取り組んでいきたいと思っています。



氏名
亀井 あずさ（かめい あずさ）
勤務先
（株）小嶋コンサルタント
入社年月日
2022年3月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

ゼネコンからの転職であったため、設計知識がなく、わからないことばかりでしたが、設計・測量に精通した上司や先輩方が丁寧に教えてくださるため自分自身、少しずつ知識が増え日々成長を感じています。

また、設計という業務に関しては、様々な視点や観点から考える整合性が必要であると感じました。

【将来の目標・夢】

将来は、信頼して任せられる、社会に貢献できる設計技術者になりたいです。そのために、土木設計者として人々のライフラインを支えているという責任感を持ち、日々の業務に励んでいきたいと思っています。



氏名
神納 美月 (かんのう みつき)
勤務先
(株)中部テック
入社年月日
2021 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社前から、男性が多い環境になじんで仕事ができるか不安でしたが、先輩や上司の方々による指導のもとで現在は不安なく仕事に従事できています。測量の仕事は体力等に厳しいこともありますが、自分のできる仕事の範囲を広げていきたいです。

【将来の目標・夢】

三次元点群データの利活用に関心を持っているため測量業界だけでなく他分野にもアンテナを広げて、新たな活用方法を生み出し実践していきたいです。そのために測量の知識を身に付け、三次元点群データの活用に関する事例等知識を組み合わせ仕事に生かし、会社や社会へ貢献できる人材に成長できるよう努力したいと思います。



氏名
木邨 真之介 (きむら しんのすけ)
勤務先
(株)中部テック
入社年月日
2021 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

上司

【入社して感じたこと】

入社から1年が経ち、建設コンサルタントの仕事は非常にやりがいに溢れていると感じています。

提案する立場としてまだまだ不安ばかりですが、会社の先輩や上司の方々には、業務のアドバイスやサポートを始め様々な場面で気にかけていただき、働きやすい環境だと感じます。

【将来の目標・夢】

当面の目標は、業務の経験や知識を得ることです。

日々の業務で得られる経験や土木に関する知識を大切にし、技術者として成長していきたいと思っています。

そして将来的には、周りから信頼される技術者になりたいです。



氏名
松原 芽衣 (まつばら めい)
勤務先
日本工営都市空間(株)
入社年月日
2022 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

若手や中堅社員が圧倒的に少ない環境で、いくつも仕事の担当を持っているベテラン社員の方について仕事を覚えていくことが多いため、最初は足を引っ張らないかということが不安でした。しかし、わからない点を聞けば詳しい説明をしていただいたり、様々な現場に連れて行っていただいたりしています。経験を重ねて教わったことの点と点が繋がるよう努めていきたいです。

【将来の目標・夢】

将来的には資格を取って技術を身に付け、何か一つでも〇〇だったら一番詳しいと言える技術者になりたいです。そのためには若手のうちは様々な業務に積極的に携わっていきたくて考えています。



氏名
八手幡 恭輔 (はてはた きょうすけ)
勤務先
(株)名邦テクノ
入社年月日
2022 年 4 月 1 日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社当初は会社に馴染めるかどうか不安でしたが、先輩や上司の方々が優しく気さくに接していただけたので、今では社内の皆さんと緊張せず会話ができるようになりました。これからは、優しくして頂いた先輩や上司の力になれるよう努力していきたいです。

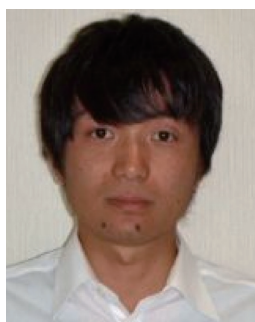
【将来の目標・夢】

将来の目標は、一人前の技術者になることです。

現在はミス無く、丁寧かつスムーズに業務を進めるためのスキルを勉強しています。まずは、少しでも早く目標に近づけるように先輩から知識と技術を学び、そして、RCCM や技術士等の業務に関係する資格の取得にも、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

「新技術への取り組みと将来への夢」

——若手・中堅技術者からの投稿



氏名
安藤 潤 (あんど じゅん)
勤務先
NTC コンサルタンツ(株)
中部支社 技術部

弊社はダムや堰、ため池をはじめ、農業水利・農地防災・農地整備の幅広い分野に携わっています。

私はこれまで、ため池や小水力発電施設、頭首工の設計業務、また農業用施設の機能診断などの調査・設計業務に従事してきました。

設計を行う上で、現場条件(施設状況や周辺地形など)を十分に理解することの重要性を感じています。ため池一つとっても同じものではなく、施設ごとの条件を踏まえた設計を行えるように心がけています。

仕事を進める中で悩みや行き詰まることも多いですが、仕事が社会に貢献していることや地域の活性化・環境改善を実感できるとともに、設計した施設を目の当たりにするとやりがいや誇りを感じます。

現在は、建設・土木事業の品質向上や生産性向上を目的として活用されるBIM/CIM技術を日々勉強しており、今後の設計に活かせるように努めたいと思っています。

また、今後の目標としては、専門知識をさらに深めるとともに、技術士資格の取得を目指しています。そのために日々の業務に加え、自己研鑽に努め、技術を磨いていきたいと思っています。



氏名
石川 寛之 (いしかわ ひろゆき)
勤務先
(株)大增コンサルタンツ
空間計測部

私は測量業界に入って20年が経ち、中間管理職として従来の測量のほか、UAVなど測量の新技術に携わっています。我社の測量部門(空間計測部)は区画整理や用地測量を得意としていますが、新技術に取り組み始めてほぼ4年が経ちます。

私は新技術に触れている立場だからでしょうか、測量部門に席を置きながらも、一風変わった業務に携わる機会が多い様に思っています。例えば、①UAV動画による交通渋滞の定点記録や、②(まだ開発途中ですが)ラジコンボートによる都市河川のヘドロ厚の測定、③BP道路や区画整理事業のUAV撮影とそのPR動画やパンフの作成等にも携わっております。

測量の新技術に携わる上では、どうしても他分野の理解が欠かせませんが、問題に直面すると、『エイ、ヤー』の覚悟で、他業種の方々に聞いて回ることが度々あります。私は元来ひっこみ思案なタイプなのですが、新技術の仕事を通じて意識や性格が変わってきた気がします。ひとえにこのような機会を与えて頂いた会社には感謝しております。そして新しい技術だけでなく、測量の先人達の仕事に学びながら、地域を代表するエンジニアとして成長してゆきたいと思っています。

話題は変わりますが、我社ではここ数年で職場環境が変わってきております。例えば、チャットツールによる情報伝達や意見交換が浸透し、SNSでの広報活動も盛んです。また若手社員の発案で、部内ではピラニアを飼ったり、釣り好き部員らの釣果が掲示されてみたり、最近ではダーツが登場しました。会社がどんどん変わっていく事を期待しながら、仕事に励んでいる今日です。



氏名
松田 暁憲（まつだ あきのり）
勤務先
（株）カナエジオマチックス
建設コンサルタント事業部

私は平成30年（株）カナエジオマチックスに入社し、建設コンサルタント事業部設計グループのチーフリーダーとして勤務しております。

入社以来、携わった業務は道路改築設計、落石対策設計、急傾斜地崩壊対策設計、インフラ構造物の補修設計等、幅広い分野に携わってきました。

前職のコンクリート製品の製造や品質管理業務、及び橋梁補修設計、落橋防止や橋脚補強設計の経験が現職の業務に活かされていると実感しています。また、入社以来、コンクリート技士やRCCM（鋼構造及びコンクリート）の資格を取得できたことは、自分自身にとって大きな自信となり、これまで以上にスキルを向上させたいとモチベーションが上がりました。

これからの建設業界においては、ICTや新技術の活用が必要不可欠であると実感することが多くあります。現在、設計イメージが後工程により反映し易くなるよう、3次元をベースとした図面作成に仕組み、新しい技術の習得に注力しています。従来と異なった手法で業務を行うことは勇気がいることですが、今後も自己研鑽し、知見を深め、新たな技術に挑戦したいと思っています。

また、社内では働き方改革、そしてコロナ禍を期にテレワークが進んでいます。これら社内の取組みを活用し、効率的に業務を遂行し、より良い職場環境の実現と家族と過ごす時間を大切にしたいと考えます。自身のより良いワーク・ライフ・バランスの実現こそが、豊かな成果品を生み出すパワーになると信じ、リーダーとして若い社員を牽引したいと思っています。



氏名
井田 真聡（いだ まさと）
勤務先
（株）梶川土木コンサルタント
技術部

私は大学卒業後、施工会社で8年間、現場監督を行い、平成20年に（株）梶川土木コンサルタントに入社しました。これまで行ってきた業務は、公共測量、流量観測、ダム定期観測、物件調査、工損調査、建物点検、ブロック点検、除却設計などで、たくさんの種類の仕事を行ってきました。歩行者自転車の通行が危ない道路の整備、地震対策としての点検、老朽化したビルの解体など土木の仕事は自然や社会に大きく関り、その時代に必要とされる仕事を幅広く経験することが出来て、とてもやりがいのある仕事だと思っています。

弊社に入社してすぐ、3人目の子供の娘が生まれました。娘が小さかった頃は多くの時間仕事をし、家族には大変な思いをさせたと思います。その後、弊社も働き方改革が進み、娘が小学生になった頃ですが、PTAへの誘いがあり、4年間務めることが出来ました。ワークライフバランスを推奨する弊社でなくては出来なかったことだと思います。今は地域の防災活動として、子ども向けの防災キャンプのスタッフを行っています。

土木の経験を活かし、地域とも関わりながら社会に貢献していきたいと思っています。



氏名
西田 貴裕紀 (にしだ たかゆき)
勤務先
(株)中部テック
測量部

学生時代から登山をしていた私は、近代日本で最初に剣岳登頂に成功した、陸軍測量隊による映画（剣岳 点の記）を見て、まだ誰も足を踏み入れない山中に道を作り仕事する測量士と、自分の登山との思いを重ね、冒険的な要素がある測量士の仕事に興味をもち、株式会社中部テックに入社いたしました。

また、入社後には測量士が先駆者となって道を切り開いた旧日電歩道と呼ばれる登山道を歩き、測量士の仕事を実感し、魅力と誇りを感じています。この道は映画(剣岳 点の記)の舞台である剣岳の懷に黒部川の水力電源開発の測量調査のため急峻な断崖絶壁の溪谷を掘削して作られた歩道です。剣岳の懷にある黒部峡谷は降雨量が多く、急峻な河川であることから水力発電に極めて適した条件であるようです。そのため、地形は日本一深い断崖絶壁の溪谷で、その当時、猟師も立ち入ることのできない未知の場所だったそうです。

現在、日本の中で未開の地はほとんどないですし、今後わたしが、そのような土地を測量する機会に巡りあうことは無いかもしれません。しかし、社会にとって重要な工事計画も測量から始まります。測量の新技術を取り入れ地形を計測するのも未知の経験となっていきます。

新しい道を切り開いた先人の測量士と同じように、私も、未経験の新しい道を一步ずつ、着実に歩んで仕事に取り組んでいきたいと考えています。



氏名
松浦 佑紀 (まつうら ゆうき)
勤務先
中日本建設コンサルタント(株)
建設技術本部

私は、中日本建設コンサルタント株式会社に入社して10年目になります。私が所属する建設技術本部第1部第3課は、主に道路の計画および設計を実施しております。

大学では土木工学を専攻しておりましたが、道路の計画・設計という分野は全く経験がなく、将来、道路の技術者になっているとは思ってもみませんでした。しかし、今では、誰でもいつでも利用することができる日常生活に不可欠な道路を計画するこの仕事に大きな“やりがい”を感じております。

私の仕事は、今まで無かったところに道路を計画したり、事故や渋滞が発生しているところを改良したりと、地域が抱える交通の問題や課題を解決することで、人々の安全・安心な暮らしを守ることに繋がっていると考えからです。

そんな道路に関わる技術者として、これからも専門知識や技術力の向上を図るとともに、他分野にも関心を持ち、幅広い知識を習得していきたいと思っています。

また、これまで先輩社員からご指導して頂いたように、中堅技術者として、後輩の業務進行をサポートしつつ、一人前に仕事ができるように指導・育成していきたいと思っています。

小さな夢ですが、3才の子どもが大きくなった時に「この道路はお父さんが設計したんだよ」と胸を張って自慢できるように、技術者として精進していきたいです。



氏名
宮山 智樹(みややま ともき)
勤務先
日本工営都市空間(株)
空間情報課

測量業界に入り10年程経ち、ありがたいことに地上測量、航空測量、深淺測量と陸、空、海の測量をそれぞれ経験することが出来ました。ご縁もあり、当社にお世話になり1年が経ちました。今までとは違う環境で、海外案件の測量も経験させていただいております。海外案件はこれまでの考えとは180度違い、日本国内では当たり前であるmm及びcm単位の測量や3次元測量で広範囲に行うという考えはなく、10cm単位の測量や精度よりスピード感が優先であるなど日本国内では経験することができない新たな価値観を植え付けられました。日本国内においても、高精度よりそこそこの精度なスピード感という考えは存在するのではないかと改めて思われました。

日本国内においては、目まぐるしく技術が進歩し、GNSSを必要としないUAV?も登場し始めており、日々刺激を受けております。

忙しい日々ではありますが、UAV写真測量やGIS系、AI、VR、BIM/CIMなどこれから必須とある技術にも積極的に挑戦し、自分自身の技術力向上に努めていきたいと考えております。

あわせて、後輩への技術継承も考えていく年齢でもありますので、その辺も意識していければと思います。



氏名
中村 知暉(なかむら ともき)
勤務先
(株)名邦テクノ
設計事業部都市整備課

私は株式会社名邦テクノに入社して以来、「ため池」の設計業務に携わっています。

ため池は農業用水の確保のため、造成されたもので、江戸時代以前に築造されたものが7割を占めており、これらのため池の多くは、近年多発する地震、豪雨などの自然災害に対する耐性を備えていないのが現状です。

私は防災工事を施すために必要な設計業務に携わってきました。防災対策とは、土質調査等を基に、堤体及び附帯施設の耐震検討や洪水吐の能力検討などを行い、問題がある施設に対して、経済性や機能性の他、維持管理、施工性などの観点から最適な工法を選定しています。

ため池の場合、管理用道路が整備されていないことも多いため、仮設計画には日々苦勞しています。周辺の地形や用地状況等を把握し、工事車両が通行可能な線形を考慮する必要があり、堤体を開削して進入する案や、上流側から回り込むような形で進入する案など様々な進入ルートを検討しています。そのため、時に堤体や洪水吐の設計よりも時間がかかってしまうことも多々あります。

その苦勞故、工事完成後の整備されたため池を見たときは大きな達成感を味わうことができます。また、人々の命と財産にも関わるため、責任感と緊張感を感じるとともに、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

協会・委員会活動報告

協会活動報告（令和3年度～令和4年度上半期）

愛測協事務局

【令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）】

1. 主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1) 第48回定時総会

日 時 令和3年5月28日

場 所 愛測協 事務局

議 題

第1号議案 令和2年度事業報告について

第2号議案 令和2年度収支決算承認について

第3号議案 令和3年度事業計画について

第4号議案 令和3年度収支予算について

今村会長を議長に選出し、第1号議案から第4号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に規模を縮小し、毎年開催している記念講演会、懇親会は中止とした。

2) 理事会

第1回 令和3年4月23日（対面web併用）

・令和2年度収支決算について

・第48回定時総会について

第2回 令和3年7月20日

・定例勉強会について

・各委員会の活動状況について

第3回 令和3年9月1日

・定例勉強会について

・全員研修会について

第4回 令和3年11月24日（ウイंक愛知）

・各委員会活動報告について

・今後の活動計画について

第5回 令和4年2月18日（対面web併用）

・各委員会活動状況について

・令和3年活動報告及び収支概算決算について

第6回 令和4年3月22日（名鉄グランドホテル）

・令和4年度の事業計画（案）及び収支予算について

・役員改選について

3) 委員会

i) 総務委員会

第1回 令和3年7月30日

・定例勉強会について

第2回 令和3年12月23日（対面web併用）

・営業研修会について

・賀詞交歓会について

ii) 広報委員会

第1回 令和3年9月21日

・「方位」について

第2回 令和3年12月16日（対面web併用）

・「方位」のテーマについて

・委員会費用について

iii) 測量委員会

第1回 令和3年4月27日（対面web併用）

・各活動詳細について

・測量競技会、地図教室について

第2回 令和3年12月13日（対面web併用）

・委員会活動報告結果について

iv) 建設コンサルタンツ委員会

第1回 令和3年5月11日（対面web併用）

・各活動事業について

第2回 令和3年6月30日（対面web併用）

・各A・I事業について

第3回 令和3年9月7日（対面web併用）

・各A・I事業について

第4回 令和3年10月21日（対面web併用）

・各A・I事業について

第5回 令和4年2月18日（対面web併用）

・テクノアイについて

v) 危機管理委員会

第1回 令和3年5月10日（web）

・中部地区三県の意見交換会について

・産官学A・Iについて

第2回 令和3年6月29日（web）

・オンライン災害復旧等関連業務研修会

・中部地区三県の意見交換会について

- 第3回 令和3年8月6日 (web)
 - ・オンライン災害復旧等関連業務研修会
 - ・中部地区応援協力に関する協定
- 第4回 令和3年10月22日 (web)
 - ・中部地区応援協力に関する協定
 - ・オンライン災害復旧等関連業務研修会結果について
- 第5回 令和4年1月28日 (web)
 - ・中部地区応援協力に関する協定
 - ・産学官A・I結果報告について

2. 主な事業活動状況

1) 監事による会計監査

令和3年4月23日、令和2年度の会計及び業務について、藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

2) 要望活動の実施

- ①毎年、全会員が25班に分かれ県内の全発注機関に対して行っていた『協会の更なる活用と受注機会の拡大』の要望活動を今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により6月に郵送にて同旨の要望活動を実施した。また、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。
併せて、テクノアイ19号を配布した。
- ②令和3年7月1日、正副会長及び総務委員長が、愛知県建設局長、都市・交通局都市基盤部長、土木部長、技監、建設企画課長、用地課長へ久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
- ③令和3年7月29日、30日に会長、両副会長及び総務委員長が全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。
- ④令和3年7月28日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「自民党愛知県連との懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、国に対しては「地域・地元企業への優遇施策を進めて頂くよう」、県・名古屋市に対しても「業界内(大手・中小企業間)の連携強化を図り、地域の中小企業、地域に精通する企業の有効的な活用による円滑かつ効率的な道路台帳デジタル化施策の推進」等を強く要望した。

3) 災害緊急時協力体制のPR活動の実施

全建設事務所を各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制のPR活動について、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送による活動とした。

4) 測量競技会の後援

令和3年6月9日、県立稲沢高校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟(県内農業高校測量科7校加盟)主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員10名を派遣し、6チームが参加した測量競技の審判・採点を行い競技大会をバックアップし、優秀校に対し当協会の会長表彰を行った。

5) 地図教室(測量の日記念行事)の実施

国土地理院中部地方測量部と合同で、地図教室として小学校児童に測量の体験学習を行った。中部地方測量部は、出前授業で「地図が出来るまで」を講演、その後、協会会員による「測量体験学習」を実施した。

令和3年6月18日に布袋北小学校(江南市)、7月2日に中央小学校(蒲郡市)の2校で併せて112名の4年生を対象に開催した。

6) 災害等緊急時における連絡模擬訓練

- ①令和3年8月25日、名古屋市との災害協定に基づき、(一社)名古屋市測量設計業協会と合同で名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。
- ②令和3年9月1日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

7) オンライン災害復旧等関連業務研修会の開催

月 日 令和3年9月28日

場 所 オンラインセミナー形式

参加者 32社78名

テーマ 「協会BCPについて」

講 師 危機管理委員会 委員長 小中 達雄

テーマ 「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」

講 師 危機管理委員会 委員 河 正根

テーマ 「災害復旧等関連業務の事例紹介について」

講 師 危機管理委員会 副委員長 早川 正喜

テーマ 「令和2年7月豪雨の際の大分県での対応について」

講 師 (一社)大分県測量設計コンサルタント協会
副会長 馬原 錦 様

年々増加する激甚災害や今後発生が予想される大規模災害に備え、会員の災害復旧等関連業務への対応力向上と、技術継承の課題に対応するべく、例年発生し

ている災害復旧等関連業務を題材として、測量及び設計の実務担当者を対象とした研修会を昨年に引き続きオンラインで開催した。

8) コンプライアンス講習会（独占禁止法順守講習会）

毎年、独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタント協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会共同で開催していた独占禁止法順守に関する講習会を、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、昨年同様、各団体ホームページにて3月末までの期間限定で「独占禁止法の概要」の資料を公開した。

9) 愛知県建設局との定例勉強会

月 日 令和3年10月19日

場 所 ウィルあいち

出席者 愛知県建設局土木部建設企画課長

廣瀬 克夫 様 始め 21名

愛測協 今村会長始め 18名

テーマ A 設備環境について

B 業務関係について

C 入札関係について

D 橋梁業務関係

E 積算業務関係

F その他

愛知県建設局本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。協会側からはウィークリー・スタンスはじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

10) 「テクノアイ」、「方位」の刊行、配布

令和2年度に測量委員会が実施した用地講習会、測量研修会及び危機管理委員会の活動報告を取り纏めた「テクノアイ」19号を刊行（1,200部）し、6月に発注機関等を中心に配布した。10月には、機関誌「方位」44号を刊行（2,000部）国、県、市町村など発注機関へ配布した。

11) 測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設局等からの依頼に応じて、測量研修会に講師を派遣した。受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。

○測量技術講習会

①第1回愛知県知立建設事務所講師派遣

月 日 令和3年10月27日

場 所 愛知県知立建設事務所

参加者 24名

②第2回愛知県海部建設事務所講師派遣

月 日 令和3年11月4日

場 所 日光川河川防災ステーション

参加者 16名

③第3回愛知県尾張建設事務所講師派遣

月 日 令和3年11月9日

場 所 五条川左岸浄化センター

参加者 18名

○豊田市建設技術職員研修

月 日 令和3年11月10日

場 所 千石公園（豊田大橋下）

参加者 9名

12) 全員研修会の開催

月 日 令和3年11月24日

場 所 ウィンクあいち

参加者 42社58名（内オンライン17社20名）

テーマ 全測連中部地区協議会・愛測協報告

テーマ 愛知県の建設事業について

講 師 愛知県建設局土木部建設企画課長

廣瀬 克夫 様

テーマ i-ConにおけるUAVの活用と運用上の課題

講 師 (株)愛河調査設計

代表取締役社長 山本 成竜

テーマ 都心の河川測量を3次元計測に変えて

講 師 (株)名邦テクノ

執行役員 調査事業部長 嶺山 千明

毎年開催している全員研修会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年同様、対面参加とオンライン形式の両方で開催した。

13) 産官学A・I

月 日 令和3年12月10日

場 所 オンライン形式研修会

参加者 18社39名

第1部 愛知県下の水災害の特徴および対策等の概要

講 師 名古屋大学大学院工学研究科

土木工学専攻 教授 戸田 祐嗣 様

第2部 浸水被害のリスク把握や対応方法、今後の取り組み方法等協会員6社によるグループワーク

建設コンサルタンツ委員会及び危機管理委員会共同で、大雨による河川氾濫や浸水・地滑り・土石流などの豪雨災害について、愛知県下における災害の特徴と対策を学び、更には災害査定・復旧支援に繋げるために協会員が自社のBCP・BCMの策定に役立つ情報の取得を目的とする研修会をオンラインで開催した。

14) シビルエンジニア A・I

月 日 令和3年12月16日

場 所 愛知県豊田加茂建設事務所

参加者 16名

建設事務所職員の方々と会員各社のリーダー技術者との意見交換会を開催し、第8回目となる今年度は、「働き方改革の取り組み及び品質確保」をテーマに発注者、受注者がそれぞれの立場で、率直な意見交換を行った。

15) アソシエーション A・I

公共事業の円滑な進行と品質の向上を目指し、発注者、設計者、施工者の3者が合同で行う現地研修及び意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、開催予定であった海部建設事務所及び津島土木研究会と令和4年度の開催について、調整することとした。

16) 愛知県i-Construction推進協議会へ委員を派遣

愛知県では、県の実情を踏まえた施策としてi-Constructionを推進するためICTや新技術の現場導入などを検討し、建設現場における生産性向上を目的に愛知県i-Construction推進協議会を平成30年8月1日より立ち上げて協議を進めており、当協会から理事を委員として派遣し、今年度は11月29日協議会議論に参画した。

17) 賀詞交歓会

会員相互の親睦並びに、建設局長始め県建設局幹部の方々や顧問の先生方との交流の場として毎年開催していた賀詞交歓会を、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

18) 営業研修会

月 日 令和4年3月11日

場 所 ウィンクあいち

参加者 39社62名

テーマ SDGs（持続可能な開発目標）の概要及び愛知県の取り組みについて

講 師 愛知県政策企画局企画調整部企画課
企画第二グループ 奥村 麻奈美 様

テーマ 「会員受注及び決算状況」

講 師 副会長 梶川 洋

様々なテーマで開催している経営者及び営業担当者を対象とした営業研修会を、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、2年ぶりに開催した。

19) イブニングサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となり設立した「イブニングサロン」に参画した。

今年度は、7月27日に豊橋技術科学大学、9月24日に愛知総合工科高等学校、10月28日に東海工業専門学校金山校、11月18日に豊田工業高等専門学校、11月30日に椙山女学園大学の建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催し、コンサルタント業務の具体的な内容などについて学生・生徒と行政機関、産業界の若手技術者が活発な意見交換を行った。

当協会からは会員企業社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などとの交流を深めた。

20) 関係団体との連携

令和3年6月2日 愛知県土木施工管理技士会総会
に出席

【令和4年度（令和4年4月～令和4年8月）】

1. 主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1) 第49回定時総会

日 時 令和4年5月13日

場 所 ANAクラウンプラザホテル
グランコート名古屋

議 題 （全議案承認）

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度収支決算承認について

第3号議案 令和4年度事業計画について

第4号議案 令和4年度収支予算について

第5号議案 役員改選について

久松総務委員長の司会により今村会長の挨拶、
石堂理事を議長に選出し、第1号議案から第5号議
案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認さ
れた。

総会閉会後、記念講演会が開催された。

テーマ 愛知県の建設事業について

講 師 愛知県建設局土木部建設企画課長
佐藤 正裕 様

2) 理事会

第1回 令和4年4月26日

- ・令和3年度収支決算について
- ・第49回定時総会について

第2回 令和4年6月23日

- ・定例勉強会について
- ・「測量の日」講演会、50周年について

第3回 令和4年7月28日

- ・定例勉強会について
- ・各委員会報告について

3) 委員会

i) 総務委員会

第1回 令和4年6月28日

- ・定例勉強会について
- ・「測量の日」講演会について

ii) 広報委員会

第1回 令和4年7月7日

- ・「方位」について
- ・要望活動報告について

iii) 測量委員会

第1回 令和4年7月11日（対面web併用）

- ・各活動詳細について
- ・測量競技会・地図教室について

iv) 建設コンサルタンツ委員会

第1回 令和4年4月21日（対面web併用）

- ・各A・I事業活動について

第2回 令和4年5月27日（対面web併用）

- ・各A・I事業活動について

第3回 令和4年7月29日（対面web併用）

- ・シビルエンジニアA・Iについて
- ・アソシエーションA・Iについて

第4回 令和4年8月23日

- ・シビルエンジニアA・Iについて
- ・アソシエーションA・Iについて

v) 危機管理委員会

第1回 令和4年4月22日（web）

- ・委員会活動について
- ・中部地区災害協定について

第2回 令和4年5月26日

- ・委員会活動について
- ・中部地区災害協定について

第3回 令和4年7月13日（web）

- ・災害復旧等関連業務研修会について
- ・中部地区応援協力に関する協定について

第4回 令和4年8月26日（web）

- ・協会BCP（風水害編）について
- ・災害復旧等関連業務研修会について

2. 主な事業活動状況

1) 監事による会計監査

令和4年4月25日、令和3年度の会計及び業務につ
いて、藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

2) 要望活動の実施

①令和4年5月31日、正副会長が愛知県 道浦建設局
長はじめ幹部へ『協会員の更なる活用と受注機会の
拡大』を要望した。

引き続き、6月初旬に、全会員が25班に分かれ県
内の全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施する
とともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市
町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ20号を
配布した。

②令和4年7月1日、正副会長及び総務委員長が、愛
知県建設局長、都市・交通局都市基盤部長、土木部
長、技監、建設企画課長、用地課長へ久保田、杉
浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会員の更な
る活用と受注機会の拡大』を要望した。

③令和4年7月19日、20日に会長、両副会長及び総務委員長が全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

3) 測量競技会の後援

令和4年6月8日、県立安城農林高等学校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科7校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員7名を派遣し、6チームが参加した測量競技の審判・採点を行い、競技大会をバックアップした。また、最優秀校及び優秀校に対し、当協会の会長表彰を行った。

4) 地図教室（測量の日記念行事）の実施

国土地理院中部地方測量部と合同で、地図教室として小学校児童に測量の体験学習を行った。

中部地方測量部は、出前授業で「地図が出来るまで」を講演及び協会会員による「測量体験学習」を令和4年6月21日に上鷹見小学校（豊田市）で開催した。また、9月6日に西広瀬小学校（豊田市）及び10月14日御作小学校（豊田市）で開催。

5) 災害緊急時協力体制のPR活動の実施

令和4年6月中旬に、全建設事務所及び港務所へ各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制についてPRした。

6) 測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設部等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。

受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。

○建設技術研修会

県建設企画課の依頼により、県及び市町村職員を対象とした「測量設計業務委託監督基礎講座」に講師を派遣し、測量概論と最新の測量技術について講義を行った。

月 日 令和4年6月14日

場 所 愛知県自治センター（オンライン方式）

参加者 71名

○特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県道路維持課の依頼により、特車審査事務を担当する県、市町村職員、道路公社職員に対して許可制度の概要や審査実務について講義を行った。

月 日 令和4年7月26日

場 所 愛知県西三河総合庁舎 大会議室

参加者 50名

7) 災害等緊急時における連絡模擬訓練

①令和4年8月26日、名古屋市との災害協定に基づき、（一社）名古屋市測量設計業協会と合同実施の名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。

②令和4年9月7日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施。

8) あいち建設みらいサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話し合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となり設立した「イブニングサロン」が、令和4年度より名称を建設分野のみらいを担う若手人材の育成を行うことを明確にするため「あいち建設みらいサロン」に変更し、7月20日豊橋技術科学大学で柳生川地下河川整備工事現場にて、8月9日大同大学にて開催した。

建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催し、コンサルタント業務の具体的な内容などについて学生・生徒と行政機関、産業界の若手技術者が活発な意見交換を行った。

当協会からは会員企業社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などとの交流を深めた。他に9月21日中部大学、11月1日愛知総合工科高等学校、11月17日名古屋工業大学、11月25日名古屋工業高等学校、12月6日豊田工業高等専門学校で開催予定。

総務委員会報告

委員長 久松 顕

副委員長 森 康彰

総務委員会は、主に会員皆様の資質向上と受注の増大を目的とした活動を担当しています。

1. 愛知県建設部との定例勉強会

月 日 令和3年10月19日

場 所 ウィルあいち

出席者 愛知県建設局土木部建設企画課長
廣瀬 克夫 様始め 21名
協会 今村会長始め 18名

愛知県建設局本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きした。協会側からはウィークリー・スタンスはじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点について幅広く意見交換を行った。

2. コンプライアンス講習会（5団体共催）

毎年、独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、（一社）建設コンサルタント協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会共同で開催していた独占禁止法順守に関する講習会を、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、各団体ホームページにて令和4年度3月末までの期間限定で「独占禁止法の概要」の資料を公開した。

3. 全員研修会の開催

月 日 令和3年11月24日

場 所 ウィンクあいち

参加者 42社58名（内オンライン17社20名）

テーマ 中部地区協議会・愛測協会務報告

テーマ 愛知県の建設事業について

講 師 愛知県建設局土木部

建設企画課長 廣瀬 克夫 様

テーマ i-ConにおけるUAVの活用と運用上の課題

講 師 (株)愛河調査設計

代表取締役社長 山本 成竜

テーマ 都心の河川測量を3次元計測に変えて

講 師 (株)名邦テクノ

執行役員 調査事業部長 嶺山 千明

毎年開催している全員研修会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面参加とオンライン形式の両方で開催した。

4. 賀詞交歓会

会員相互の親睦並びに、建設局長始め県建設局幹部の方々や顧問の先生方との交流の場として毎年開催していた賀詞交歓会を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

5. 営業研修会

月 日 令和4年3月11日

場 所 ウィンクあいち

参加者 39社62名

テーマ SDGs（持続可能な開発目標）の概要及び愛知県の取組みについて

講 師 愛知県政策企画局企画調整部企画課

企画第二グループ 奥村 麻奈美 様

テーマ 「会員受注及び決算状況」

講 師 副会長 梶川 洋

様々なテーマで開催している経営者及び営業担当者を対象とした営業研修会を、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、2年ぶりに開催した。

6. 受注状況調査の収集・分析

会員の経営体質の強化を図るため受注状況の収集・分析及び、平素から国土交通省や愛知県の入札制度など必要な情報の収集に努め、会員へ機会ある毎に情報の提供を行った。

おわりに

協会に対するご意見、ご希望等ございましたら、事務局までご連絡頂きたく存じます。皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会報告

委員長 永草 新吾

副委員長 服部 真澄

副委員長 河本 啓一

広報委員会は、広く県民の皆様に測量設計業に対する認識を深めていただくための広報活動や、ホームページを通して業界の認知度向上、イメージアップを図ってまいります。会員向けには測量設計業に関するニュース、話題、協会の行事結果等を適時発信してまいります。

広報委員会での活動は、大きく三つ（要望活動・機関誌「方位」・ホームページ）あり、これらの実績についてご報告いたします。

1. 要望活動

当協会のさらなる活用と受注機会の拡大を図るため、毎年5～6月に全会員が参加して国・県・市町村の各発注機関に対して要望活動を実施しております。

昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から郵送での配布となりましたが、今年度は3年ぶりに全会員を25班に編成し、一斉に各発注機関を訪問し要望活動を行いました。また、受注企業の経営安定と資金繰り改善のため、前払金制度の採用についての要望も併せて実施しております。

<要望書抜粋>

当地域においては、南海トラフ巨大地震等の発生が危惧されるとともに、大規模な風水害や土砂災害の発生が懸念されています。

このような状況の中で、地域の安全・安心を守るという私ども測量設計業の使命を将来にわたって果たしていくため、地元企業が元気に活躍できる環境整備が重要であります。加えて、緊急事態対応のためにも企業が適正な利潤を確保し、経営基盤を安定させ、将来的見通しをもって労働環境の改善や人材の育成に取組む事により、「夢のある産業」としてその魅力を高め、将来にわたってその担い手を継続的に確保するという好循環を形成しなければなりません。

協会員企業は、甚大な被害を及ぼす南海トラフ巨大地震を想定し、常日頃から測量設計の技術研鑽に努め、災害発生時における協会員企業間の情報共有、災害支援体制を整備できるよう努めております。

地域を熟知する地元企業の更なる活用・育成が緊急時における迅速な支援・活躍、ひいては安全・安

心なまちづくりと地域の活性化に重要且つ不可欠であると考えます。

是非、事業量の経常的な増額と確保をお願いすると共に、地元企業を育成するためにも「地元で出来る事は地元で・・・の認識と強い意志」へご配慮を頂き、「協会員の更なる活用と受注機会の拡大」をよりしくお願い申し上げます。

記

協会員の更なる活用と受注機会の拡大

2. 機関誌「方位」

県民の皆様、官公庁の皆様、学生の皆様が知りたい、知っておきたい情報は何かと毎年熟慮し検討しておりますが、今号は「県政150周年」の特集を組みました。

愛知県が誕生してから、今年で150周年を迎えます。愛知の歩みを振り返り、郷土への愛着や誇りを改めてお持ちいただく良い機会になればと思います。

また、公益事業への取り組みでは、「愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」への支援、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小中学校生徒を対象に関催されております「地図教室」の様子を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任された新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者向けに、会員企業の新入社員（入社3年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。

3. 協会ホームページ

当協会のホームページを通じて、今後も業界の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますので活用ください。

「方位」及び「協会ホームページ」については関係各位からのご意見・ご要望等をしっかりとリサーチし、内容をさらに充実させ皆様のニーズに応えていけるよう努力してまいりますので、何卒、ご支援・ご協力お願い申し上げます。

測量委員会報告

委員長 川崎 敏昭

副委員長 吉本 三広

副委員長 柴田 修身

測量委員会は、測量技術の向上と地域社会への貢献を目的とし、関係機関と調整を図り各種研修会への講師派遣や将来の測量技術者育成のための活動を行っております。

1. 測量研修会

県及び市町職員の測量知識の研鑽と実務体験を通じ業務の理解を目的に、県内3ヶ所の建設事務所と市に講師を派遣し研修会を開催しました。

【カリキュラム】

- ・「測量業務とは」の講義
「TSの応用」中心線測量の講義及び実習
- ・豊田市水準測量
「水準測量の理論と観測実習」

【開催概要】

令和3年10月27日	知立建設事務所24名
令和3年11月4日	海部建設事務所16名
令和3年11月9日	尾張建設事務所18名
令和3年11月10日	豊田市役所 9名
	参加者計67名



知立建設



海部建設



尾張建設



豊田市

2. 特殊車両通行許可申請審査業務の研修

【対象者】 県、市町村、県道路公社職員等

【開催概要】 令和4年7月26日（10時～16時）

西三河総合庁舎 出席者50名



3. 愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会支援

連盟からの要請により協会会員6社7名のご協力を頂き、競技会の審査員を派遣し協議会の支援を致しました。

【開催概要】

令和4年6月8日に愛知県立安城農林高等学校にて開催。結果など活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧ください。

4. 小学校での地図教室

「測量の日」関連事業として、愛知県内3校の小学校3・4年生を対象に、国土地理院中部地方測量部と合同で「地図教室と測量体験」を実施しました。

【開催概要】

令和4年6月21日 豊田市立上鷹見小学校

令和4年9月6日 豊田市立西広瀬小学校

令和4年10月14日 豊田市立御作小学校（予定）

活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧ください。

上記活動以外にも、中部地区協議会への対応、愛知県研修会への講師派遣、地理空間情報産学官中部地区連携協議会への参加などの活動を行っています。

各活動の実施にあたっては、多数の会員企業の皆様にご協力をいただきました。紙面をお借りし感謝申し上げます。

建設コンサルタンツ委員会報告

委員長 尾藤 宜伸

副委員長 石堂 公彦

副委員長 國島 正彦

建設コンサルタンツ委員会では、愛知県(Aichi)で社会資本(Infra)整備に携わっている愛知県測量設計業協会会員の技術力向上及び地域貢献への支援を目的として、「3つのA・I活動」を展開している。

1. 令和3年度 活動報告

1.1 シビルエンジニアA・I

(コミュニケーション向上を目指す意見交換会)

受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目指して開催した。

■日時：令和3年12月16日(木)13:30～16:00

■場所：豊田加茂建設事務所 会議室

■テーマ：①働き方改革への取り組みについて
②品質確保について

■参加者：豊田加茂建設事務所仙石所長始め6名、愛測協10名 計16名

コミュニケーションによる受発注者間の更なる信頼関係構築を目指し、意見交換を行なった。コロナ禍での少人数、三密回避の中、活発な意見交換を行い、コーディネーターによる報告の後、仙石所長から講評を頂き閉会した。



1.2 アソシエーションA・I

(品質向上を目指す現場研修会)

発注者、設計者、施工者の3者で行う現地研修会及び意見交換会を通じて、公共事業の円滑な進行と品質の向上を目的とする。

海部建設事務所及び津島土木研究会と調整し、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の開催を見合わせ令和4年度に改めて検討することとなった。

1.3 産官学A・I

愛知県下における災害の特色と対策を学び、更には災害査定・復旧支援に繋げるために協会員自社のBCP・BCMの策定に役立つ情報の取得を目的として、戸田教授による講義、協会員参加のディスカッションにより浸水被害への情報を共有する講習会を開催した。

■日時：令和3年12月10日(金)9:30～11:30

■形式：Webセミナー形式(YouTube Liveを使用したオンライン研修会)

■内容：

・第1部 『愛知県下の水災害の特徴および対策等の概要』

名古屋大学大学院工学研究科

土木工学専攻 教授 戸田 祐嗣氏

・第2部 協会員によるグループワーク(ZOOM討議) エリア別協会員6名

■参加者：申込40名(YouTube同時視聴者数39名)

第1部では豪雨災害の事例紹介や「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」の取り組み紹介等今後水災害対策への重要な情報を得られたとともに、第2部では自社の水災害リスクや対策の再確認、今後の取り組みに向けての課題について活発な討議が行われた。



2. 令和4年度の活動予定

2.1 シビルエンジニアA・I意見交換会

新城設楽建設事務所で品質確保に必須である①工程管理②照査③コミュニケーションをテーマとして以下の開催に向けて、協議を進めていく。

□日時：10月28日(金)13:30～16:00

□参加者：建設事務所、愛測協各5名

□場所：新城設楽建設事務所 会議室

2.2 アソシエーションA・I現場研修会

海部建設事務所及び津島地区土木研究会と調整し、コロナ禍の状況を踏まえながら、開催に向けて協議を進めていく。

2.3 産官学A・I

昨年度の愛知県下での水災害リスクの把握、会員によるグループワークにより多くの情報が得られたことから、今年度は危機管理委員会での『事業継続計画書(BCP)風水害編』標準版の策定により、協会員への啓蒙を図っていく。

危機管理委員会報告

委員長 小中 達雄

副委員長 早川 正喜

副委員長 山本 成竜

1. はじめに

危機管理委員会は、協会並びに会員の危機管理体制を強化する活動をしています。委員会のテーマを“危機管理体制の整備とBCMの確立～体制と連携の強化～”とし、主に対外関連と協会内関連に分けて活動を進めています。新型コロナウイルス感染症により委員会活動への制限もありましたが、3年目となりオンライン等を駆使し活動を継続しております。

2. 主な活動内容

2.1 対外関連の活動

会員の災害関連業務に関する技術力の向上及び継承を目的とした研修会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン形式で開催いたしました。参加者は78名と盛況で参加者から大変好評でした。

また、内容についても災害対応に関する意識の向上が見受けられる研修会となりました。

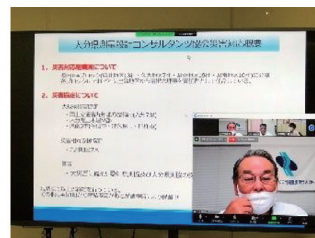
(1) オンライン災害復旧等関連業務研修会

日時 令和3年9月28日（火）

参加者 愛測協／危機管理委員会・会員企業各社／大分県測量設計コンサルタンツ協会

テーマ 「協会BCPについて」「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」「災害復旧等関連業務の事例紹介について」「令和2年7月豪雨の際の大分県での対応について」

講師 危機管理委員会 委員長 小中 達雄
危機管理委員会 副委員長 早川 正喜
危機管理委員会 委員 河 正根
大分県測量設計コンサルタンツ協会 副会長 馬原 錦



(2) 3県合同「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」についての意見交換会

日時 令和3年10月27日（水）

令和4年2月9日（水）

参加者 (一社) 岐阜県測量設計業協会
(一社) 静岡県測量設計業協会
(一社) 愛知県測量設計業協会

テーマ 「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」

議 事 「全国測量設計業協会連合会中部地区協議会の協定について」「各測協の現状・情報共有」「各県での通常災害時の対応状況」「協定の具体化に必要な今後の進め方について」

令和2年12月に(一社)岐阜県測量設計業協会、(一社)静岡県測量設計業協会と3県合同で、協定に関する意見交換会を開催いたしました。この意見交換会では平成23年度に協定を締結した内容について意見を交わし、より具体的な内容に詰めていくことを目的としています。今後も意見交換と議論を重ね、より良い内容を模索してまいります。

2.2 協会内の活動

(1) 災害連絡訓練

令和3年9月1日（水）愛測協事務局において、愛知県建設企画課、9建設事務所、2港務所の担当部署及び会員の皆様にご協力いただき、災害緊急時連絡訓練を行いました。オンラインシステムを活用し、滞りなく連絡訓練を実施することができました。



会員紹介（力行）



豊かな社会づくりに貢献する

株式会社 梶川土木コンサルタント

1. 会社概要

所在地：〒448-0037

刈谷市高倉町4丁目508番地

TEL：0566-24-6606 FAX：0566-24-6413

URL：http://www.k-cc.co.jp

創業：昭和47年1月1日

代表者：代表取締役 梶川 洋

従業員：34名



2. 事業内容

建設コンサルタント、測量調査、補償コンサルタントの3事業を展開し、お客様のニーズにワンストップでお応えする体制を整えています。

3. 当社の価値観

「Well-Being for ALL」

お客様も自分たちも幸福に

「自分たちで創りあげる」

誰かから与えられるものではない

「お互いを尊重する」

それぞれの価値観はそれぞれ

自分たちで目的、目標を設定し、主体的に行動できることを目指しています。「人と人は違う、相手を理解する、認め合う、感謝する、尊重する」を大事にしています。



4. 特徴

当社は2010年よりワークライフバランス活動を始め、2019年からは健康経営にも力を入れ、活動してから4年連続で健康経営優良法人として認定されています。常に自分たちの働き方を改善してきました。

2年前より業務時間の10%以内の時間を活用して、会社の未来（資産）のため、自分への投資活動をするための「10%ルール活動」を取り入れ、全社員がチームに所属し活動しています。BCP、副業検討、デジタル化推進、ちーむルンルンの4チームをオフィシャルチームとし、他にやりたいことがあれば有志でチームを結成できます。

去年は有志チームで会社の雰囲気を伝えるためのインスタグラムを始めたり、作業着に代わるオフィシャルのポロシャツやフリースを作成しました。「こんなのあったらいいな」を形にして、自分たちの会社は自分たちで創り上げています。

今後もトライ&エラーを繰り返しながら社員全員が主体的に行動できることを目指し、常に進化し続けていきます。



KANA L 株式会社カナエジオマチックス

創立 50 周年記念キャラクター

かなつぴい

50th



1. 会社概要

所在地：〒460-0012

名古屋市中区千代田一丁目 12 番 5 号

TEL：052-249-9611 FAX:052-249-9601

創業：昭和 47(1972)年 5 月 1 日

設立：昭和 48(1973)年 11 月 20 日

代表者：代表取締役 飯谷 哲矢

従業員：60 名

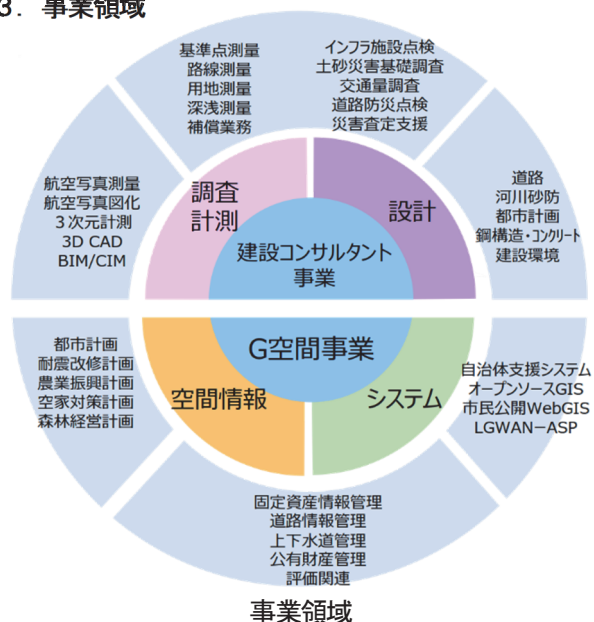
2. 沿革

株式会社カナエジオマチックスの前身、鼎測量設計事務所は 1972 年に誕生しました。

創業以来、調査計測事業を中心に実績を重ね、1980 年代後半からは G 空間情報事業に進出し、東海地方の自治体を中心に地理情報システム（GIS）の導入及び地理空間情報の整備を提案してきました。

1996 年には建設コンサルタント事業に進出し、G 空間事業で培った ICT 技術を強みにして事業を拡大し、当初「道路部門」だけだった建コン登録は、現在、「河川、砂防及び海岸・海洋部門」、「都市計画及び地方計画部門」、「鋼構造及びコンクリート部門」、「建設環境部門」に拡大しています。

3. 事業領域



■建設コンサルタント事業

自然災害の多い日本において、国土を守り、人々の生命・財産を守るための防災・減災の取組や、高度成長期以降に大量に整備されたインフラ構造物の老朽化が深刻な社会問題になっています。

建設コンサルタント事業部では、道路・河川構造物の設計のほか、ドローンなどの新技術を用いたインフラ点検や道路防災点検、土砂災害警戒区域等の設定、各種災害対策工の設計などを行っています。



ドローンによる橋梁点検

■G空間事業

当社の社名の「ジオマチックス」は、「地理情報科学」や「空間情報科学」を意味する言葉です。

G 空間事業部では、従来行ってきた行政事務の効率化・高度化を図るための様々な地理空間情報の構築だけでなく、三次元モデルの解析による浸水想定区域の抽出や MMS やドローンにより取得した点群データを使用しての 3D 地形モデル作成など、地理空間事業を活用したソリューション事業を展開しています。



三次元空間モデル解析（浸水想定区域）



総合建設コンサルタンツ

株式会社 協同コンサルタント

1. 会社概要

所在地：〒458-0801

名古屋市緑区鳴海町字中汐田 84 番地 1

TEL：052-624-3311 FAX：052-624-1740

URL：http://www.kyodoconsul.com

創業：昭和4年4月1日

代表者：代表取締役 近藤 優

登録：測量業

建設コンサルタント業

補償コンサルタント業

一級建築士事務所

宅地建物取引業

従業員：20 名



2. 沿革・経営理念

弊社は、昭和4年の水野源之助測量事務所設立に始まり、昭和51年に（有）協同区画整理事務所と商号を改めて名古屋市緑区に社屋を構えました。地域に密着し、お客様と共に喜びを感じられる住み良い街づくりを目指して参りました。経営理念に「未来の子ども達につながる安全で快適なまちを創造します」を掲げ、土地区画整理事業のほか、測量・土木・建築・補償調査・不動産の総合コンサルタントとして、地域の特性と発展を考えた持続可能な社会整備に貢献していきたくと考えます。

3. 事業内容

弊社の事業の中心は土地区画整理事業です。特に緑区では昭和41年から現在まで、14組合について街区の測量・設計をはじめ、換地処分等、設立認可から解散までの事務運営をトータルに手掛けました。区内の受託組合面積合計は約4km²で、緑区面積約38km²の約1割に当たります。

県内においても知多岡田善坪・西二タ俣地区等の実績があり、これらを踏まえて東日本大震災復興事業では岩手県釜石嬉石松原地区に携わることができました。

宅地造成等の開発、公園・コミュニティーセンター・消防団詰所の設計にも多数実績があります。今後ともお客様からの土地活用、不動産仲介等、土地に関わる様々なご要望にお応えしていく所存です。



4. おわりに

南海トラフ地震をはじめとする自然災害の脅威がますます高まるなか、今後の当社の役割において地域社会の安全を守ることを最も重視しています。災害に強い街づくりをより一層推進し、災害時に地域にどのような貢献ができるかを視野にBCPを策定して、社内外の災害訓練や防災対策に積極的に取り組みます。

また、以前より社員一丸となって取り組んでいる省エネ活動もDXやSDGsの新しい視点を取り入れ、パワーアップを図っていきます。



協和調査設計株式会社

1. 会社概要

所在地：〒454-0839

名古屋市市中川区篠原橋通二丁目 44 番地

TEL：052-365-3711

FAX：052-365-3712

URL：<http://www.ky-cs.co.jp/>

創立：1967 年（昭和 42 年）10 月 16 日

代表者：代表取締役 江刺家 智

登録：建設コンサルタント、測量業、
一級建築士事務所、地質調査業、
補償コンサルタント



2. 事業内容

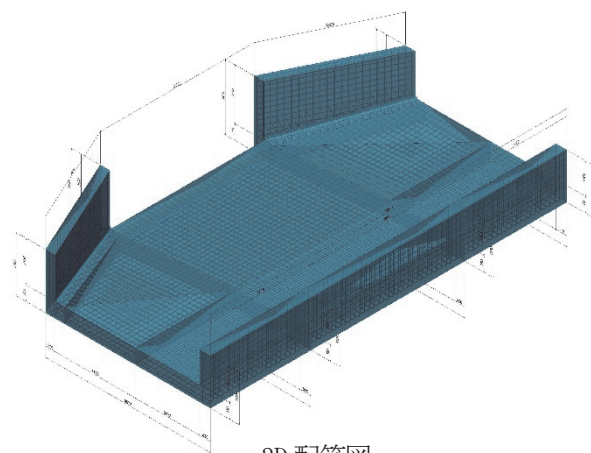
当社は愛知県を中心に、用水路、排水路、ほ場、揚水機場、排水機場、ため池等農業施設の整備の他、道路、河川、砂防施設、上水道、下水道等、様々な社会資本整備を行う事業者を支援しています。

また、一般測量の他に、施工業者と協力し、UAV、3D レーザースキャナーを使用した ICT 土工の測量業務を行っています。

3. 当社の取組

当社では、3次元モデル（BIM/CIM）の活用に向けて機器の整備、技術の習得に取り組んでいます。

社内で、3次元点群測量から3次元地形データへの変換。3次元地形データを使用した設計成果品の作成まで完結することを目標としています。



3D 配筋図

業務の継続、技術の向上のためには、社員の健康が第一です。当社では健康管理の一環として、健康診断時の腫瘍マーカーや女性のがん検診の補助、インフルエンザ予防接種の補助、メンタルヘルスの研修等を行っています。

また、新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種を積極的に行って頂くよう、接種日を特別休暇としています。

4. おわりに

これからも地域から求められる建設コンサルタントを目指し、農業基盤整備を中心に社会資本整備を通して地域の発展に貢献できるよう努力してまいります。

紹介

顧問紹介（敬称略）

顧問団長



久保田 浩 文・(くぼた ひろふみ)

愛知県議会議員（稲沢市選出、当選7回）平成23年5月 顧問就任

■略歴 昭和28年生

昭和50年3月	日本大学経済学部卒業
平成7年4月	愛知県議会議員当選
平成13年5月	愛知県議会 企画環境委員会委員長
平成19年5月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
平成20年5月	愛知県 監査委員
平成21年10月	自由民主党 愛知県支部連合会組織委員長
平成22年5月	自由民主党 愛知県支部連合会副会長
平成25年5月	愛知県議会 議長
平成26年6月	自由民主党 愛知県支部連合会幹事長
平成27年5月	愛知県議会 中京大都市圏形成調査委員会委員長
平成29年5月	愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長
令和2年5月	愛知県議会 人づくり・福祉対策特別委員会委員長

顧 問



杉 浦 孝 成・(すぎうら たかしげ)

愛知県議会議員（高浜市選出、当選5回）平成27年5月 顧問就任

■略歴 昭和23年生

昭和41年3月	県立刈谷商業家庭高等学校卒業
平成15年4月	愛知県議会議員当選
平成19年5月	愛知県議会 警察委員会委員長
平成20年5月	愛知県議会 少子高齢化・人づくり対策特別委員会副委員長
平成21年5月	愛知県議会 地域振興環境委員会副委員長
平成23年5月	愛知県議会 地域振興環境委員会委員長
平成27年5月	愛知県議会 副議長
平成29年5月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
令和元年5月	自由民主党愛知県議員団長
令和4年5月	愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長

顧問



佐藤 一志・(さとう かずし)

愛知県議会議員（知多市選出、当選3回）平成27年5月 顧問就任

- 略歴 昭和28年生
- | | |
|---------|-------------------|
| 昭和45年3月 | 流通経済大学卒業 |
| 平成23年4月 | 愛知県議会議員当選 |
| 平成27年5月 | 愛知県議会 健康福祉委員会委員長 |
| 平成30年5月 | 愛知県議会 総務県民委員会副委員長 |
| 令和2年5月 | 自由民主党愛知県議員団総務会長 |
| 令和4年5月 | 愛知県議会 副議長 |

顧問



飛田 常年・(ひだ つねとし)

愛知県議会議員（蒲郡市選出、当選3回）令和元年5月 顧問就任

- 略歴 昭和32年生
- | | |
|---------|--------------------|
| 昭和56年3月 | 愛知大学法経学部経済学科第Ⅱ部 卒業 |
| 平成23年4月 | 愛知県議会議員当選 |
| 平成27年5月 | 愛知県議会 振興環境委員会 委員長 |
| 平成29年5月 | 自由民主党愛知県議員団総務会長 |

役員名簿

(一社) 愛知県測量設計業協会

顧問団長	久保田 浩 文	愛知県議会議員
顧問	杉 浦 孝 成	愛知県議会議員
〃	佐 藤 一 志	愛知県議会議員
〃	飛 田 常 年	愛知県議会議員
会 長	今 村 鐘 年	中部復建(株)
副 会 長	青 木 拓 生	(株)拓工
〃	西 出 剛 大	(株)大增コンサルタンツ
理 事	久 松 顕	久松測量設計(株)
〃	永 草 新 吾	(株)中部テック
〃	川 崎 敏 昭	(株)カナエジオマチックス
〃	尾 藤 宜 伸	中日本建設コンサルタント(株)
〃	小 中 達 雄	日本工営都市空間(株)
〃	森 康 彰	(株)アイエスシイ
〃	服 部 真 澄	(株)名邦テクノ
〃	河 本 啓 一	(株)梶川土木コンサルタント
〃	吉 本 三 広	(株)石田技術コンサルタンツ
〃	柴 田 修 身	(株)あづま
〃	石 堂 公 彦	(株)新日
〃	國 島 正 彦	協和調査設計(株)
〃	早 川 正 喜	早川都市計画(株)
〃	山 本 成 竜	(株)愛河調査設計
監 事	藤 本 博 史	中央コンサルタンツ(株)
〃	長谷川 英 輝	公認会計士・税理士(北斗中央税理士法人)
事務局長	安 藤 賢 一	(一社) 愛知県測量設計業協会

[委員会]

総務委員会 ① 法人の管理運営 ② 入退会及び表彰 ③ 独禁法の遵守及び相談 ④ 測量設計業務の実態調査及び解析 ⑤ 会員の資質向上に関する研修会の開催 ⑥ その他、他の委員会に属さない事項	委員長 久松 顕 委員 伊藤 俊行 副委員長 森 康彰 " 坂野 晃嗣 委員 酒井 誠 " 岩木 利志 " 永田 行活 " 永草 健裕 " 浜田 哲也 " 宇佐 美明 " 高木 喜一 担当副会長 西出 剛大 " 川口 英朗
広報委員会 ① 発注機関への要望活動 ② 機関紙「方位」の発刊 ③ 協会・測量設計業の啓蒙啓発 ④ その他広報に関する事項	委員長 永草 新吾 委員 坂口 耕一 副委員長 服部 真澄 " 加藤 健司 " 河本 啓一 " 榊原 雅彦 委員 町田 穂積 担当副会長 西出 剛大 " 安藤 健一郎 " 須藤 一彦 " 山本章好
測量委員会 ① 測量技術(地理空間情報等)の研鑽 ② 研修会及び講師派遣(国・県・市町村等) ③ 測量設計無料相談(一般県民等) ④ 「測量の日」(国土地理院)記念事業の実施 ⑤ その他測量(用地業務含む)に関する事項	委員長 川崎 敏昭 委員 鈴木 善晴 副委員長 吉本 三広 " 河村 利由紀 " 柴田 修身 " 浅野 強 委員 林 浩司 " 樋口 悟 " 中村 竜平 " 早川 友幸 " 中谷 正和 " 大西 俊次 " 鈴木 守 担当副会長 青木 拓生
建設コンサルタンツ委員会 ① 建設コンサルタント業務の技術の向上・改善 ② 事業領域の拡大・研究 ③ 会員の技術向上に関する研修会 ④ その他建設コンサルタンツに関する事項	委員長 尾藤 宜伸 委員 廣田 保雄 副委員長 石堂 公彦 " 山田 雅登 " 國島 正彦 " 池田 健一 委員 栗山 智明 担当副会長 青木 拓生 " 山田 秀穂 " 奥村 和夫
危機管理委員会 ① 災害等緊急時体制の整備・充実 ② 災害等緊急時における技術支援 ③ 協会・会員のBCP作成・支援	委員長 小中 達雄 委員 尾崎 富男 副委員長 早川 正喜 " 池端 康 " 山本 成竜 " 種村 拓麻 委員 河 正 根 担当副会長 青木 拓生 " 小杉 哲也 " 西出 剛大 " 酒井 泰明 " 廣瀬 稔也

会員名簿一覧

正会員

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
(株)アイエスシー	森 富雄	466-0059	名古屋市中区福江2-9-33 nabi/白金2階	general@isc-ngo.co.jp	052-882-1201
(株)愛河調査設計	山本 成竜	457-0074	名古屋市中区本地通6-8-1	asso@aiga-cc.co.jp	052-819-6508
愛徳コンサルタント(株)	針間 崇義	470-0342	豊田市清水町大清水38-10	aitoku-c@woody.ocn.ne.jp	0565-45-5557
(株)葵エンジニアリング	角田 安史	453-0018	名古屋市中村区佐古前町22-6	iso@aoi-eng.co.jp	052-486-2200
あおい建設コンサルタント(株)	濱崎 将志	461-0005	名古屋市中区東横2-3-7	aoi@japan-net.ne.jp	052-933-2091
葵コンサルタント(株)	中川 恵子	444-2118	岡崎市河原町13-2	soumu@aoi-con.co.jp	0564-22-7058
(株)葵設計事務所	中西 慎仁	440-0085	豊橋市下地町2-51	soumu@aoi-sekkei.jp	0532-55-5263
(株)アクセス	赤松 光昭	448-0013	刈谷市恩田町1-159-1	access_survey@katch.ne.jp	0566-23-8667
(株)朝日設計事務所	朝日 烈	465-0024	名古屋市中区東区本郷3-118	soumu@asahisekkeijimusho.co.jp	052-774-7181
(有)旭測量事務所	金子 郁男	440-0851	豊橋市前田南町1-4-12	surveyor@cello.ocn.ne.jp	0532-54-5934
(株)旭調査	村瀬 伸吾	468-0052	名古屋市中区井口1-2017	asahi@asahi-c.co.jp	052-838-7721
(株)あづま	柴田 修身	440-0026	豊橋市多米西町1-20-9	aduma@631255.jp	0532-63-1255
アマノコンサルタント(株)	天野 隆俊	444-2131	岡崎市青木町22-5	info@amano-c.com	0564-45-2445
アローコンサルタント(株)	栗山 智明	456-0018	名古屋市中区新尾頭2-2-32 勢州館金山ビル内	soumu@arrow-c.co.jp	052-684-5684
(株)石田技術コンサルタンツ	吉本 三広	485-0028	小牧市東新町50	itsom@itcnet.co.jp	0568-73-1085
井上測量設計(株)	佐々木康次	460-0001	名古屋市中区三の丸1-10-1 TLCDビル3階	inoue-s@uranus.dti.ne.jp	052-212-5193
(株)宇井測量設計	宇井 源悟	470-1219	豊田市秋部西町西裏19番地1	uiss@lilac.ocn.ne.jp	0565-85-0830
N T C コンサルタンツ(株)	大村 仁	460-0003	名古屋市中区錦2-4-15 ORE錦二丁目ビル4階	eigyou.hn@ntc-c.co.jp	052-229-1701
(株)M S S	酒井 誠	454-0054	名古屋市中川区八剣町3-24	jimuso@kkmss.co.jp	052-602-7715
(株)オオバ名古屋支店	伊原 康敏	460-0003	名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル7階	info_na@k-ohba.co.jp	052-219-0083
(有)大場測量設計事務所	大場 孝男	444-0835	岡崎市城南町3-4-3	ohba@mikaworld.com	0564-52-8505
(株)大增コンサルタンツ	西出 剛大	454-0828	名古屋市中川区小本2-14-5	soumu@ohmasu.co.jp	052-363-1131
(株)大屋測量設計	瀬戸 孝学	465-0025	名古屋市中区東区上社2-220-1	ohyasv@sepia.ocn.ne.jp	052-908-0672
(株)梶川土木コンサルタント	梶川 洋	448-0037	刈谷市高倉町4-508	info@k-cc.co.jp	0566-24-6606
(株)カナエジオマチックス	飯谷 哲矢	460-0012	名古屋市中区千代田1-12-5	kanal@kanal.co.jp	052-249-9611
(株)神田設計	吉川 明宏	451-0062	名古屋市中区花の木1-3-5	info@kanda-s.co.jp	052-522-3121
(株)協同コンサルタント	近藤 優	458-0801	名古屋市中区鳴海町字中沙田84-1	info-mail@kyodoconsul.com	052-624-3311
協和調査設計(株)	江刺家 智	454-0839	名古屋市中川区篠原橋通2-44	soumu@ky-cs.co.jp	052-365-3711
(株)小嶋コンサルタント	町田 穂積	445-0804	西尾市緑町2-36	kojima-j@kojima-ss.com	0563-53-5331
コムワークスエンジニアリング(株)	今枝 晃	466-0058	名古屋市中区白銀3-19-15	cw-bizcontact@com-worx.co.jp	052-884-8411
(株)酒井設計事務所	酒井 泰明	471-0827	豊田市平山町5-1	sakai@hm6.aitai.ne.jp	0565-27-1762
栄土地測量設計(株)	青山 貴洋	440-0806	豊橋市八町通4-49	info@sakaetochi.co.jp	0532-55-1230
(株)三愛設計	永田 行活	492-8144	稲沢市小池1-5-8	office@sanai-sekkei.co.jp	0587-32-8313
(株)サンキ	安藤健一郎	456-0032	名古屋市中区三本松町6-5	andou-k@3ki.co.jp	052-884-2555
三協調査設計(株)	浜田 哲也	460-0015	名古屋市中区大井町4-17	sohmu@sankyocon.co.jp	052-331-5371
敷島測量設計(株)	中島 正義	462-0014	名古屋市中区楠味鏡3-302	BCH10311@nifty.com	052-901-5005
設楽測量設計(株)	加藤 博俊	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字岩井25-2	sitasoku@guitar.ocn.ne.jp	0536-62-1456
柴山コンサルタント(株)	加藤 銃彦	461-0011	名古屋市中区白壁1-69	eigyo@shibayama-consul.co.jp	052-961-0111
信栄測量設計(株)	高木 喜一	471-0024	豊田市元城町4-28	scc@ruby.ocn.ne.jp	0565-31-1113
新栄測量設計(株)	赤石 泰也	485-0044	小牧市常普請3-124	akakiko@r3.dion.ne.jp	0568-76-1755
新晃コンサルタント(株)	鈴木 善晴	462-0853	名古屋市中区志賀本通2-46	info@shinko-c.com	052-911-1286
(株)新日	秋山 学	454-0011	名古屋市中川区山王1-8-28	business@shinnichi.co.jp	052-331-5356
(株)伸和	林 清一	457-0863	名古屋市中区豊1-45-12	hayashi@kk-shinwa.com	052-692-0146
(株)須藤事務所	須藤 一彦	471-0842	豊田市土橋町4-67	bond@sudou.net	0565-29-0281
(株)成和コンサルタント	浅野 強	441-1375	新城市宇的場15-2	seiwa1@jeans.ocn.ne.jp	0536-23-6418
太栄コンサルタンツ(株)	川口 英朗	460-0012	名古屋市中区千代田3-26-18	kikaku@daiei-con.co.jp	052-332-3355
(株)大建コンサルタント	廣瀬 稔也	460-0011	名古屋市中区大須4-11-17	gyoumu@daikenc.jp	052-252-5171
(株)大地コンサルタント	山本 章好	440-0026	豊橋市多米西町1-5-5	ddm@daichi-c.jp	0532-21-6649
(株)拓工	青木 拓生	456-0004	名古屋市中区東区桜田町15-22	kanri-ask@c-takko.co.jp	052-883-2711
中央コンサルタンツ(株)	藤本 博史	460-0002	名古屋市中区丸の内3-22-1	honsha-info@chuoh-c.co.jp	052-971-2541

紹介

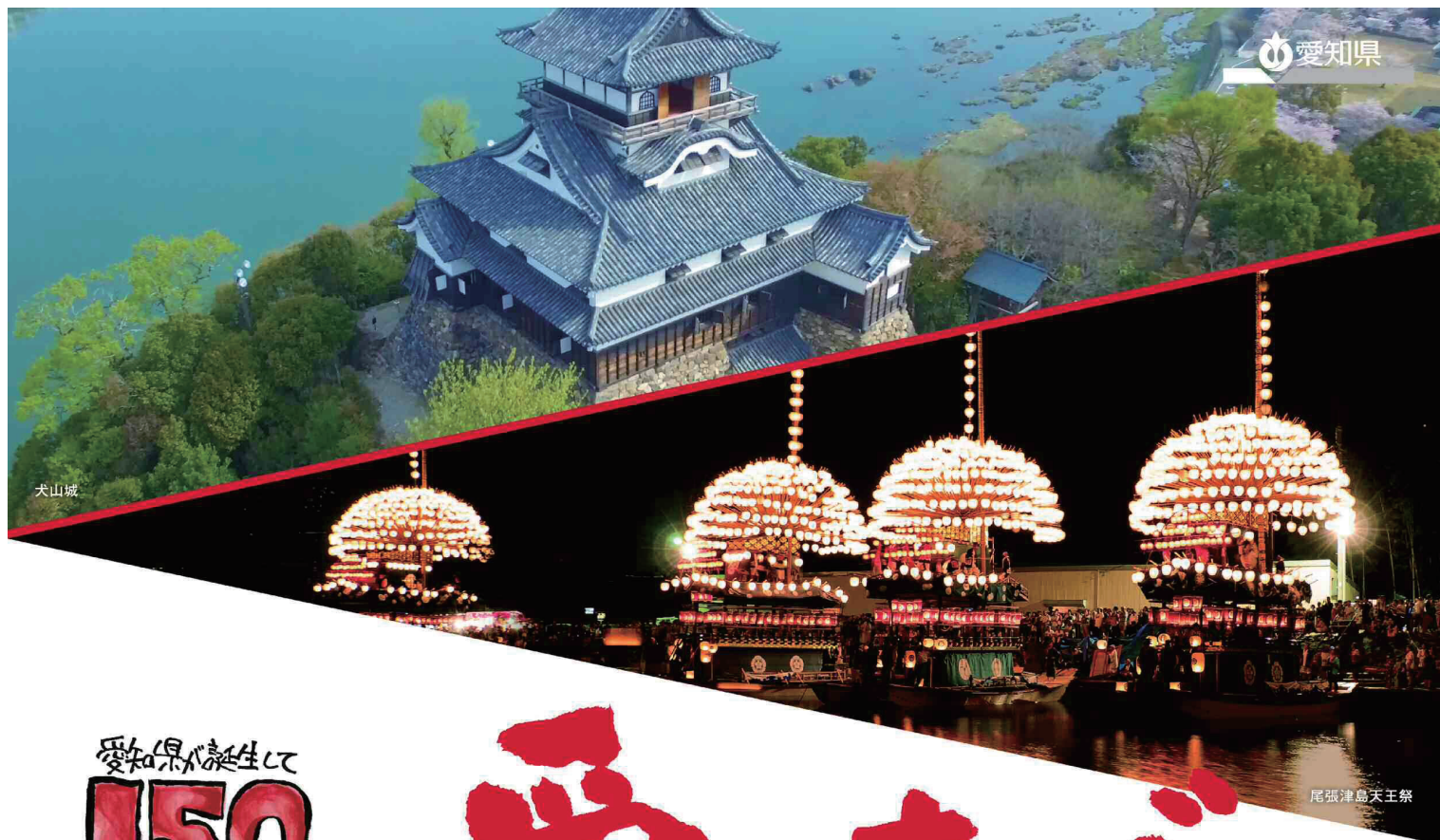
会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
(株)中建	岩 木 利 志	464-0823	名古屋市千種区松竹町1-40	chuken@k7.dion.ne.jp	052-762-1341
中部地域整備(株)	横 山 辰 夫	460-0002	名古屋市中区丸の内2-2-15	CRD@chance.ne.jp	052-201-2831
(株)中部テクノス	正 岡 佳 典	465-0024	名古屋市名東区本郷2-141	eb.ngy@c-aas.co.jp	052-768-4410
(株)中部テック	永 草 新 吾	465-0092	名古屋市名東区社台3-48	info@chubu-tech.co.jp	052-771-1251
中部土地調査(株)	上 野 英 和	451-0042	名古屋市西区那古野2-26-8	c-tochi@chubutochicyouusa.co.jp	052-565-1881
中部復建(株)	筒 井 重 満	466-0059	名古屋市昭和区福江1-1805	eigyou@chubu-fk.co.jp	052-882-6611
司開発(株)	加 藤 一 弘	448-0028	刈谷市桜町1-10	info@tsukasa-kaihatsu.com	0566-23-1056
(株)つかもと	塚 本 兼 之	486-0927	春日井市柏井町2-59	soumu@tukamoto.co.jp	0568-31-7268
東亜測量設計(株)	亀 井 幸 隆	468-0064	名古屋市天白区道明町195	toua@toua-kk.com	052-832-7322
東栄測量設計(株)	松 本 幸 三	454-0961	名古屋市中川区戸田明正2-2210	t-soumu@touei.ecnet.jp	052-618-8760
(株)東海コンサルタンツ	中 沢 真 三	440-0862	豊橋市向山大池町18-15	main@tokai-con.jp	0532-53-3400
東洋測量設計(株)	松 井 宗 廣	462-0011	名古屋市北区五反田町81	somu@tc-toyo.co.jp	052-902-1811
中日本建設コンサルタント(株)	上 田 直 和	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6 ONEST名古屋錦スクエア	e_jimu@nakanihon.co.jp	052-232-6032
(有)西尾測量	西 尾 榮 司	471-0842	豊田市土橋町5-9-3	nishio-s@hm3.aitai.ne.jp	0565-29-7124
ニチイコンサルタント(株)	早 川 友 幸	491-0837	一宮市多加木2-9-3	NICHII@nichii.co.jp	0586-71-8781
日本工営都市空間(株)	吉 田 典 明	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14	tsc-society@n-koei.co.jp	052-979-9111
早川都市計画(株)	早 川 正 喜	471-0805	豊田市美里2-17-5	soumu@hayakawa-t.co.jp	0565-89-8068
(株)東愛知コンサルタント	宇 佐 美 明	441-8053	豊橋市柱二番町2-1	h_aichi@blue.ocn.ne.jp	0532-48-5665
久松測量設計(株)	久 松 顕	492-8143	稲沢市駅前4-7-11	info@hisasoku.com	0587-21-4077
富士エンジニアリング(株)	寺 本 博 亘	464-0067	名古屋市千種区池下1-11-21 ♯ンコート池下5階	a.takeuti@fuji-eng.co.jp	052-763-1616
不地弘測量設計(株)	太 田 昭 彦	470-0374	豊田市伊保町上北野49-2	fujikoh-ota@nifty.com	0565-45-8336
藤コンサル(株)	藤 本 桂 介	450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル	eigyo@fuji-con.co.jp	052-433-1261
フジコンサルタント(株)	加 藤 健 司	497-0044	海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226	info@fujicon-c.co.jp	0567-96-1063
(株)丸太測量設計事務所	梅 村 正 明	471-0024	豊田市元城町2-8-2	marutas@estate.ocn.ne.jp	0565-32-5121
(株)メイトーテック	上 山 義 之	455-0003	名古屋市港区辰巳町1-44	k.yoshiyuki@meito-tech.co.jp	052-654-0363
(株)名邦テクノ	服 部 真 澄	457-0048	名古屋市南区大磯通6-9-2	soumu@meiho-techno.co.jp	052-823-7111
(株)名北総合技研	山 田 雅 登	462-0801	名古屋市北区新堀町49	eigyo@meihoku-sg.co.jp	052-981-4916
(株)横測	宮 川 栄 一	477-0037	東海市高橋須賀町西組14	info@aichi-yokosoku.co.jp	0562-33-1294
リード測量設計(株)	音 部 祥 一 郎	444-0113	額田郡幸田町大字菱池字東部81	lead@viola.ocn.ne.jp	0564-62-6367
若鈴コンサルタンツ(株)	吉 田 伸 宏	452-0822	名古屋市西区中小田井5-450	soumu@wakasuzuc.co.jp	052-501-1361

準会員

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
(株)フジヤマ名古屋支店	鈴 木 正 道	464-0075	名古屋市千種区内山3-7-3	nagoya@con-fujiyama.com	052-734-4030
(株)ランド・コンサルタント中部支社	洞 ノ 口 一 伸	467-0862	名古屋市瑞穂区堀田通8-18 ウィステリア堀田201号室	chubu-b.o@land-c.co.jp	052-693-6218

賛助会員

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
中京コピー(株)	嶋 津 誠 司	461-0001	名古屋市東区泉3-30-3	c-net@chukyocopy.co.jp	052-931-2611
(株)東海八嶋	嶋 津 誠 司	456-0004	名古屋市熱田区桜田町16-3	tohachi@chukyocopy.co.jp	052-931-7135
西尾レントオール(株)中部支店	濱 田 雅 義	460-0003	名古屋市中区錦1-6-17 カジーン錦ビル9階	masayoshi.hamada@nishio-rent.co.jp	052-203-8240
(株)日刊建設工業新聞社名古屋支社	田 野 口 美 秋	461-0001	名古屋市東区泉1-22-22 TODAビル	nagoya@decn.co.jp	052-961-2631



犬山城

尾張津島天王祭



©RENGAYA

いこまいまい

愛つなく。 知ひろく。

いにしえを慕い守ってきた風土と伝統。未来に挑み築いてきた知恵と技術。
いつの時代も愛をつないで知をひろく、その歩みこそ私たちの誇り。
150年の時に思いを馳せながら、さあ次の未来、次の愛知へ。



窯垣の小径

鳳来寺

2022年は県政150周年。歩みを知って未来に羽ばたこう。

いっしょに150周年を
盛り上げよう!

愛知県政150周年記念Webサイト





Trimble X7

ワークフローの自動化で
3Dスキャナーの常識に挑戦



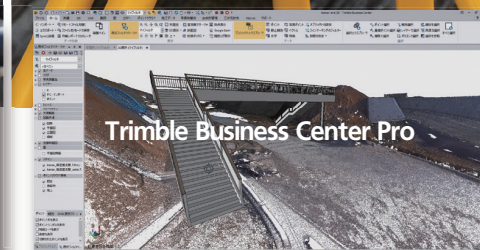
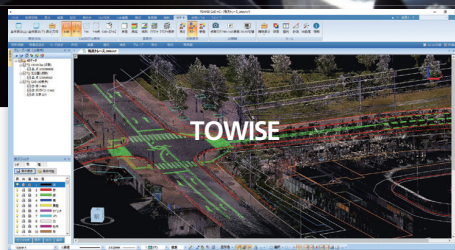
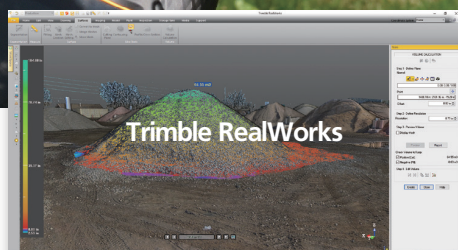
Trimble R12i

斜め観測の手軽さで
GNSS 作業効率を大きく変える



Trimble SX12

測量、イメージング、3Dスキャンを
日常のワークフローに統合



Trimble が提案する最新ソリューションで 日々の測量作業を革新

いつでも、どこでも、新しい測量体験を。

お問い合わせ先

トリンブルパートナーズ中部 株式会社

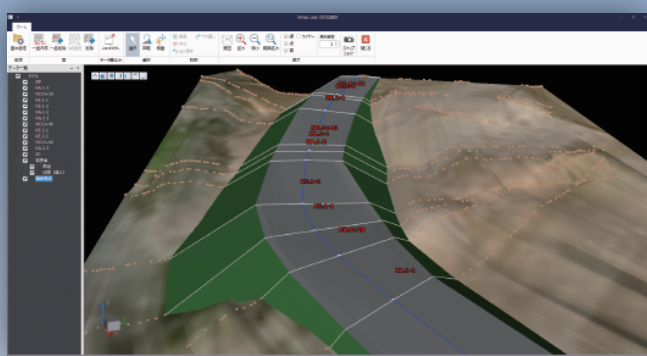
〒486-0817 春日井市東野町1丁目7番地 12
TEL : 0568-85-1824 FAX : 0568-85-1834
URL : <http://www.trimble-chubu.com/>
MAIL : web@trimble-chubu.com

豊橋営業所 〒441-8068 豊橋市神ノ輪町45番地2
TEL : 0532-35-9100 FAX : 0532-35-9102
三重営業所 〒514-0821 三重県津市垂水495
TEL : 059-222-7180 FAX : 059-222-7181

3次元で、仕事が変わる。

加速するインフラ分野のDXを、3D対応ソフトウェアでサポートします。

測量CAD

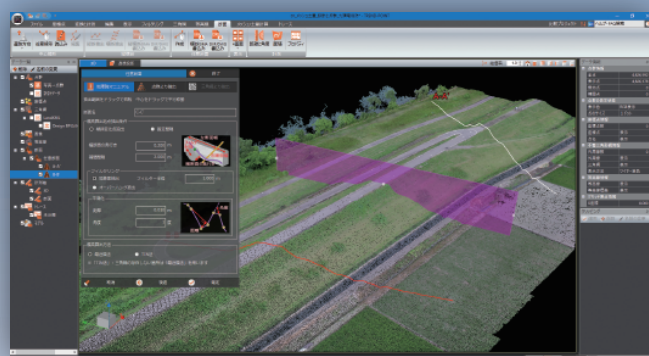


測量CADシステム【トレンドワン】

航空写真や点群データなど巨大なデータも手軽に扱えるパワーを備え、基準点・水準・用地・路線縦横断測量から、3次元計測、防災計画支援まで対応できる業界シェアNo.1の測量CADです。



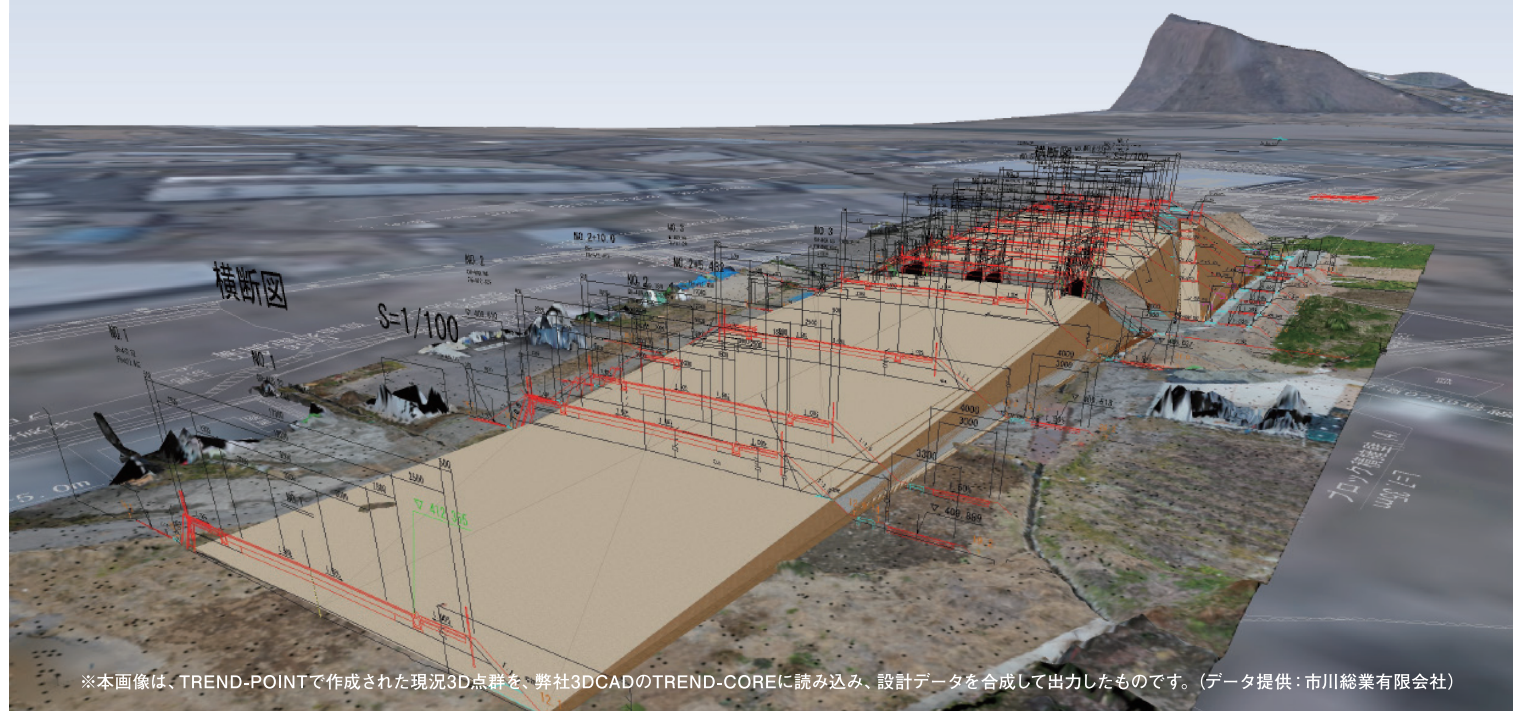
3D点群



TREND-POINT

3D点群処理システム【トレンドポイント】

膨大な点群データも快適に扱い、豊富なフィルターによる加工や断面作成、メッシュ土量計算など、3次元計測に欠かせない機能を装備する3D点群処理システムです。



※本画像は、TREND-POINTで作成された現況3D点群を、弊社3DCADのTREND-COREに読み込み、設計データを合成して出力したものです。(データ提供：市川総業有限公司)

福井コンピュータ株式会社

中部営業所／〒465-0036 愛知県名古屋市名東区藤里町411

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

[福井コンピュータグループ総合案内]

0570-039-291

福井コンピュータ 

<https://const.fukuicompu.co.jp>

～「グループ保険制度」のご案内～

一緒に働く仲間だからこそ、大切にしていきたい…そんな企業さまの想いに応えた保険制度です！

制度内容（企業負担型・個人負担型）

グループ保険制度は万一（死亡・高度障害）やケガでの入院等があった場合に保険金・給付金をお支払いします

本人						
申込 口数 (口)	一般の死亡・ 高度障害 【死亡・高度障害 保険金】 (万円)	不慮の事故による上乗せ給付		不慮の事故によるその他の給付		月払保険料 (円)
		不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡 ※ 1 (万円)	不慮の事故による 高度障害 ※ 2 (万円)	不慮の事故による 身体障害 (程度により) ※ 3 (万円)	不慮の事故による 5 日以上の入院 (120 日を限度として) ※ 4 1 日につき (円)	
6	1,200	1,200	1,200	420～60	9,000	5,220
5	1,000	1,000	1,000	350～50	7,500	4,350
4	800	800	800	280～40	6,000	3,480
3	600	600	600	210～30	4,500	2,610
2	400	400	400	140～20	3,000	1,740
1	200	200	200	70～10	1,500	870

◎本人コースの他に、配偶者コース・子どもコースもあります。
(配偶者コース・子どもコースは個人負担型のみ取扱い可能です。)
◎保険料は、年齢に関係なく一律です。
◎制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

※1 災害保険金(災害割増特約より)
+災害保険金(災害保障特約より)
※2 災害高度障害保険金(災害割増特約より)
+障害給付金(災害保障特約 給付割合表第1級)
※3 障害給付金(給付割合表第2級～第6級)(災害保障特約より)
※4 入院給付金(災害保障特約より)

「グループ保険制度」の特徴

●全測連中部地区協議会の福利厚生事業のひとつです。
ご加盟の企業さまのみご加入でき、企業さまにとっても以下のような効果があります。

- ★役員や従業員の弔慰金としてご活用いただけます！
- ★企業負担型の場合、保険料は原則、全額損金算入処理できます！
- ★計画的な支出が見込め、安定した経営につながります！

※企業負担型の場合、全員でご加入いただくことが条件です

※個人負担型でのご加入も可能です

※企業負担型と個人負担型、合わせてご加入いただくことも可能です(通算引受限度額2000万円)

※税務の取扱いについては税制改正により今後変更となる場合がございます

MY-A-22-他-005948

配当金で実質負担は軽減

●1年ごとに収支計算を行い、剰余金は配当金として還付します。昨年度の配当率は約32.9%です。

※配当率は今後変動することがありますので将来のお支払いを約束するものではありません。
※配当率はお支払い時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする配当金額は現時点では確定していません。

【ご質問・お問い合わせ先（引受会社）】

明治安田生命保険相互会社 中部公法人部法人営業第一部

TEL 052-951-9115

(時間：平日9:00～17:00まで)

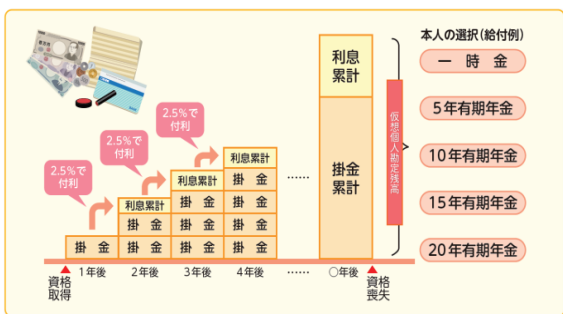


退職給付制度のご案内

厚生労働大臣の認可を受け設立された、測量・設計業界の確定給付企業年金制度です。

制度のしくみ

事業主様負担の掛金(全額損金算入可)に毎年2.5%の利息を付利して、加入期間に応じて一時金又は有期年金を退職(死亡)時に給付します。



●モデル給付（一時金又は有期年金）

加入年齢：20歳 平均標準報酬月額：340,000円

	60歳で退職	65歳で退職
◆一時金を選択すると	2,826,400円	3,447,500円
◆年金を選択すると	月額	月額
●受取期間 5年	50,183円	61,208円
●受取期間 10年	26,642円	32,492円
●受取期間 15年	18,833円	22,967円
●受取期間 20年	14,958円	18,242円



幅広い福祉事業

結婚・出産・就学・災害・死亡等に対する様々な慶弔見舞金、全国の宿泊保養施設の宿泊補助金等の支給を行います。

もう一つの年金制度「そくりようDC」

税制優遇を受けながら老後資金の準備をする確定拠出年金制度。事業主様の掛金は定額で、将来の給付額は個人(従業員)の運用結果で変動します。

測量基金

検索



そくりよう&デザイン企業年金基金

〒162-8626 東京都新宿区山吹町11番地1

TEL: 03-3235-7211

建設産業と、ともに歩みつづける

当社は、保証事業の公正かつ堅実な運営を通じて、
社会資本整備の円滑な推進と建設産業の健全な発展に貢献します。

東日本建設業保証グループは、皆様のご要望にお応えいたします！



東日本建設業保証株式会社

- 業務委託時の資金調達には
- 契約時の保証金納付に代えて

- ➡ 前払金保証
- ➡ 契約保証



株式会社建設経営サービス

- 経営環境の変化へ柔軟に対応

- ➡ 経営コンサルティング



日本電子認証株式会社

- 公共発注機関の電子入札には
- e-Tax, eLTAXによる税務申告に対応
- e-Govによる電子申請に対応

- ➡ AOSignサービス
- ➡ 法人認証カードサービス

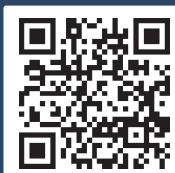
各種お申込み・お問い合わせは

東日本建設業保証株式会社 愛知支店

〒461-0008 愛知県名古屋市中区武平町5-1 名古屋栄ビルディング3F

TEL 052-962-3461 FAX 0120-027-516

URL <https://www.ejcs.co.jp/> ホームページをリニューアルしました→



KANAL

建設コンサルタント

株式会社カナエンジニアリング

地理情報システム (GIS)関連事業

- ・空間情報を活用したソリューション
- ・オープンソースGISの導入
- ・GIS活用・運用管理

建設コンサルタント

測量・調査

補償コンサルタント

固定資産関連事業

おかげさまで 創業50周年

これからも地域の皆様に
貢献してまいります

創業50周年記念キャラクター
「かなっぴい」



本社 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田一丁目12番5号
TEL : 052-249-9611 URL : <https://www.kanal.co.jp>

岐阜支店 / 三重支店 / 静岡営業所
三河営業所 / 岐阜営業所 / 瑞穂営業所

未来ある街づくりをサポートする
総合建設コンサルタンツ「新日」

100年企業をめざして!
新日 新時代へ



補償調査

測量調査

建設コンサルタント

建築設計

不動産鑑定

■ 本社

〒454-0011
名古屋市中川区山王1-8-28
TEL 052-331-5356
FAX 052-331-4010
<https://shinnichi.co.jp>

■ 支店・営業所

東三河、西三河、豊田、春日井、一宮、稲沢、岐阜、三重、
伊勢、関西、奈良、関東、静岡、東北、福島

■ 関連会社

(株)新日ホールディングス、新日土地家屋調査士法人、
新日行政書士法人、(株)ミタス伊勢



総合建設コンサルタンツ

株式会社 新日

Network of Technology and Confidence (技術と信頼のネットワーク)



建設コンサルタント：建31第1622号

河川・砂防及び海岸海洋
土質及び基礎
地質
鋼構造及びコンクリート
道路
港湾及び空港
建設環境
施工計画・施工設備及び積算

農業土木
トンネル
上水道及び工業用水道
都市計画及び地方計画
電力土木
造園
下水道

測量：第(12)－3810号

地質調査：質29第286号

一級建築士事務所：愛知県知事登録(い－3)第12331号

補償コンサルタント：補31第4300号



総合建設コンサルタント

NTC NTCコンサルタンツ株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目4番15号
ORE錦二丁目ビル4F
TEL (052) 229-1701 FAX (052) 229-1702

人々の「笑顔の基盤」を創造する総合建設コンサルタント



株式会社 名 邦 テ ク ノ

本社 〒457-0048 名古屋市南区大磯通六丁目9番地2

T E L 052-823-7111 F A X 052-823-7110

支店：豊田、東三河、静岡

営業所：岐阜、三重、稲沢、西尾

■ 建設コンサルタント

■ 補償コンサルタント

■ 測量

■ 不動産鑑定

■ 土壌汚染指定調査機関

■ 宅地建物取引業者

■ スtock点検調査

■ ICT事業

■ I S O 9001 : 2015

■ エコ事業所

■ A E D 設地事務所

■ 通学路子供110番の家

■ 地域防災協力事務所

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



中京コピー Paperless Solution 文書電子化サービス

書類の電子化が快適なワークスタイルの鍵!



情報検索性・アクセス性
が向上します



情報の共有及び
コミュニケーション力が
アップします



スペースコストが
削減できます



文書の電子化には
さまざまなメリットが
あります



書類の紛失・劣化を
防ぎます



いつでもどこでも
データを利用できます



もしもの災害時にも安心
(事業継続計画/BCP)

中京コピーは皆さまの『快適テレワーク』をサポート致します!!

テレワーク中、オフィスに保管してある資料を確認するために「やむなく出社した経験がある」という方が6割以上とのデータもございます。

文書電子化



テレワーク



業務効率化
生産性向上

文書情報管理士、電子ファイリング検定、ファイリング・デザイナーなど
有資格者がサポートいたします!“何をどうお願いすればよいかかわら
ない”という方もまずはご相談ください。

スキャニングセンター開設
生産力大幅アップ!!

この度、電子化需要の
増加に伴い、新たにス
キャニングセンターを
開設しました。



中京コピー 株式会社

<本社> 〒461-0001 名古屋市東区泉三丁目30番3号

<東京事務所> 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-12-9 ヒューリック秋葉原ビル6階

<大阪事務所> 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-20 第1スエヒロビル503号

<仙台営業所> 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目8-17

お問い合わせは
こちらまで

info@chukyocopy.co.jp

TEL: 052-931-2611 FAX: 052-931-2366

TEL: 03-6260-8570 FAX: 03-6260-8571

TEL: 06-4862-5241 FAX: 06-4862-5251

TEL: 022-399-6192 FAX: 022-399-6198



<http://www.chukyocopy.co.jp>

編集後記

広報委員会

副委員長 服部 真澄

本年度も機関誌「方位」を無事刊行することが出来ました。ご多忙にも拘わらずご寄稿いただきました愛知県建設局長 道浦様、愛知県政策企画局企画調整部企画課様、会長初め協会会員皆様方に協力いただき厚く御礼申し上げます。

3年目を迎えた新型コロナウイルス感染症は完全に終息すると思われましたが、現状は第7波が蔓延しており、まだまだ予断を許さない状況であります。

私事ですが、楽しみにしていたリベンジ旅行は残念ながら延期となり、早く通常の生活に戻りたいものです。

今年の梅雨は観測史上最短と言われ、季節外れの高温の日や、長い梅雨の戻り等、いつ起こってもおかしくない様々な災害が待ち構えています。当協会企業においては常に災害を想定し地域の安全・安心を守るため、技術力の向上に励んでおります。

さて、2005年“自然の叡智”をテーマとして多くの国が参加した「愛・地球博」

当時の呼び物として日本初のリニモや、冷凍マンモスの展示、サツキとメイの家が思い出されます。

愛知県では2022年秋、「愛・地球博」記念公園内で「ジブリパーク」の開業を目指し、地域の活性化に寄与したレジャー施設の目玉になることが期待されています。

「ジブリパーク」の整備にあたっては、手戻りリスクの低減やコストの縮減、工事の効率化等、実施設計の段階から建設会社とタイアップして「ECI方式（早い段階から請負業者が関与という意味）」と呼ぶ手法を愛知県事業として初めて採用したそうです。

この様に事業にかける愛知県の意気込みは、我々も「愛・地球博」以上の成功を祈念し、応援するものです。

是非、皆さんも機会がありましたら「ジブリパーク」に一度は足を運んでみて下さい。

最後にこの機関誌は、皆さま方の仕事等を通じての研究、事例の紹介、幅広い活動の中でのご意見を発表し、公私にわたるご活躍の一助に成ることを願っています。

今後も多くの方からの寄稿をお待ちしております。



あいちアール・ブリュット障がい者アーツ展にて

『方位』 第45号

発 行／ 令和 4 年10月31日発行

発行者／ 一般社団法人 愛知県測量設計業協会
〒460－0002
名古屋市中区丸の内3丁目19番30号
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL(052) 953－5021
FAX(052) 953－5020
E-mail:jimukyoku@aisokkyo.or.jp

編 集／ 広報委員会
委 員 長 永草新吾 委 員 山本章好
副委員長 服部真澄 委 員 坂口耕一
副委員長 河本啓一 委 員 加藤健司
委 員 町田穂積 委 員 榊原雅彦
委 員 安藤健一郎 副 会 長 西出剛大
委 員 須藤一彦

印 刷／ 中京コピー株式会社